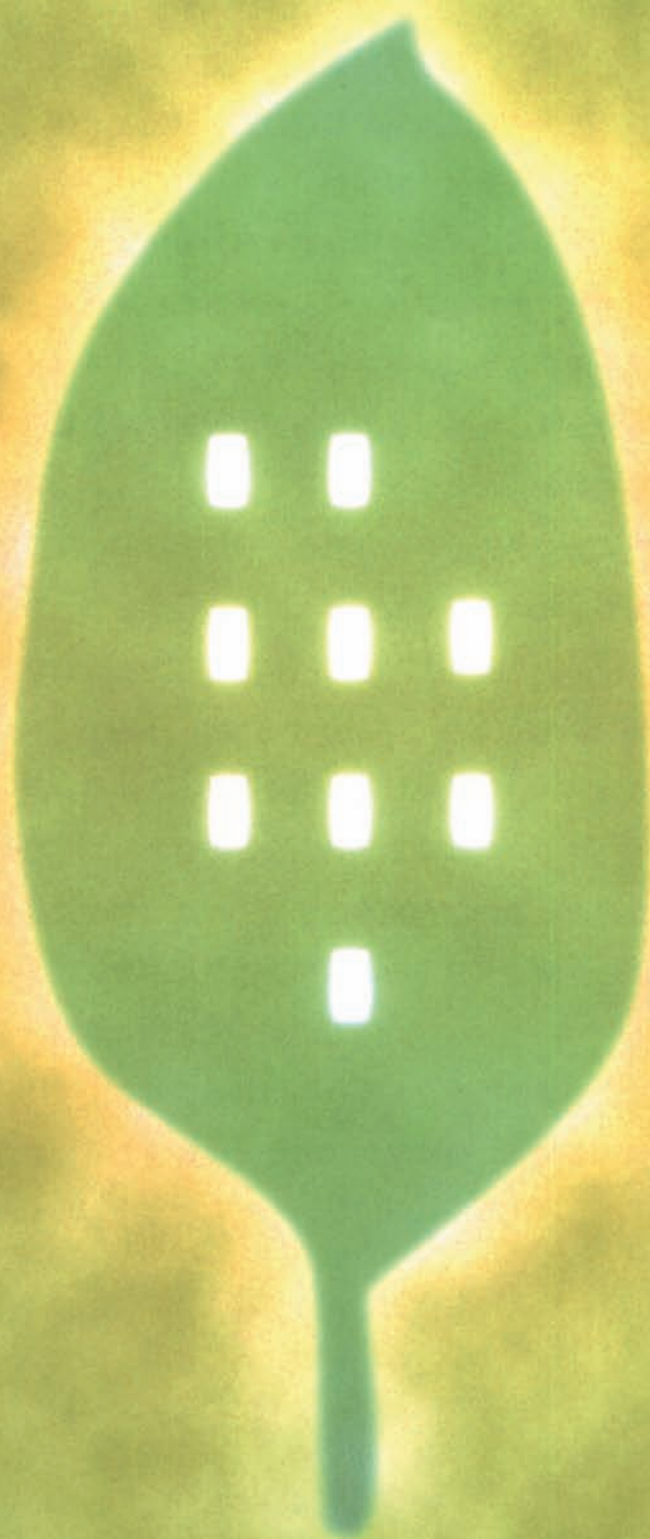


学校保健委員会マニュアル

共に学び合い、子どもにたくましく生きる力をはぐくむために



財団法人 日本学校保健会

まえがき

近年における都市化、情報化など社会環境や生活様式の変化、自然環境の変化、少子化などが、子供の身体的活動・遊びの減少、食生活の変化、精神的負担の増大、人間関係の希薄化などをもたらし、さらには家庭や地域の教育力の低下をもたらすなど子供の心身の健全な発育・発達に様々な影響を与えています。このような複雑、多様化している子供の心身の健康課題の他、いじめや不登校など生徒指導の課題に関しても心の健康とのかかわりから、保健主事が積極的にその役割を果たし、学校における健康教育の充実と指導体制の一層の強化を図ることが急務となっています。

こうしたことから、本会において、平成8年3月に「保健主事の手引」を作成・刊行し、今日の保健主事の職務について整理し、各学校及び教育委員会等において、保健主事の選任・発令、保健主事の執務、学校保健活動の推進等に活用いただき、好評を得ているところであります。

本書は、「保健主事の手引」の内容を受けて、特に、学校、家庭及び地域社会の密接な連携を図り、児童生徒の心身の健康の保持増進のために重要な役割を持つ「学校保健委員会の活性化」に焦点を当てて作成しました。

各学校及び教育委員会等において、学校保健活動の推進に当たって、本書を活用され、児童生徒の心身の健康の保持増進のための学校、家庭及び地域社会の連携の推進に役立てていただければ幸いです。

末尾となりましたが、本書の作成に当たりましてご指導いただきました文部省並びに群馬県高崎市教育委員会を初め貴重な実践や写真、資料等の提供にご協力いただきました方々に心から感謝申し上げます。

平成12年2月1日

財団法人日本学校保健会
会長 矢野 亨

目次

1 今こそ、学校保健委員会

- 1 学校保健委員会とは 1
- 2 目指す子どもの健康的な生活行動と学校保健委員会の役割 2
- 3 学校保健委員会の開催は「開かれた学校づくり」を推進します 4
- 4 学校保健委員会の活性化で、子どもに「生きる力」をはぐくみます 4

2 学校保健委員会は、こんな会議です 5

3 学校保健委員会の進め方

- 1 年間計画の立てかた 9
- 2 組織の構成 10
- 3 議題の選び方 14
- 4 準備 17
- 5 当日の運営 21
- 6 学校保健委員会の事後活動と評価 25

4 わたしたちの学校はこうにしています

- 1 年間に複数の議題を取り上げ、児童も参加して取り組む例 28
 - ・ 小学校での学校保健委員会の開催例
- 2 年間テーマを設定して、5回計画で取り組む例 31
 - ・ 中学校での学校保健委員会の開催例
- 3 関係機関との連携を強化して取り組む例 34
 - ・ 高等学校での学校保健委員会の開催例
- 4 管理型の運営を重視して取り組む例 37
 - ・ 盲学校での学校保健委員会の開催例
- 5 生徒代表を参加させて取り組む例 40
 - ・ ろう学校での学校保健委員会の開催例
- 6 個々の発達に応じて家庭と一体となって取り組む例 43
 - ・ 養護学校での学校保健委員会の開催例

5 これから開催しようとする学校のために

1 保健主事のあなた自身、認識していますか	46
2 養護教諭と力をあわせて	47
3 校長先生に相談して	47
4 校内保健部で具体的な計画案の作成を	48
5 企画委員会・運営委員会で共通理解を	48
6 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の協力を	48
7 P T Aの協力を	48
8 評価をしっかりと	49

6 関連する様々な活動

1 家庭健康会議	50
2 学級・学年保健委員会	53
3 拡大学校保健委員会	54

7 地域学校保健委員会のすすめ

1 地域学校保健委員会とは	55
2 地域学校保健委員会の目指すものとは	56
3 良いこといっぱい	56
4 集まる人たち	57
5 幅広い活動内容	57
6 委員会開催後の実践活動	58
7 組織化へのいろいろなタイプ	58
8 地域学校保健委員会の実践例	59

8 学校保健委員会Q & A

61

1

今こそ、学校保健委員会

今、子どもの健康問題が複雑多様化、深刻化してきている状況にあります。社会環境・生活様式等の変化に伴いこの状況は、今後もより一層進むことが予想されます。人生80年時代、生涯を通じて健康な生活を送るため、学校では、子どもの生活行動をよりよく改善していく資質や能力の伸長を目指して、家庭や地域社会と連携を強化した健康問題への積極的な取り組みが求められています。

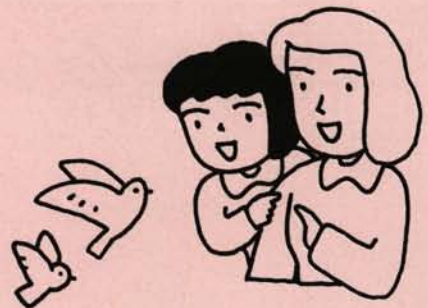
このため、健康・安全に関する学校、家庭及び地域社会の連携を図るための中核的な組織である学校保健委員会を機能させる必要があります。

1 学校保健委員会とは

学校における健康の問題を研究協議し、健康づくりを推進する組織です。様々な健康問題に適切に対処するため、家庭、地域社会等の教育力を充実する観点から、学校と家庭、地域社会を結ぶ組織として学校保健委員会を機能させることが求められています。

学校保健委員会の開催でこんなことが期待できます！

- ・ 食事、運動、休養及び睡眠など規則正しい生活の習慣づくり。
- ・ 性に関する問題、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等、また、いじめや不登校の問題など心の健康問題への取り組みの充実。
- ・ 水・空気など健康で安全な環境づくりと管理の徹底。
- ・ 定期健康診断の適切な事後措置の徹底。
- ・ 感染症の予防・対策についての取り組み。
- ・ 食中毒の予防・対策の徹底。
- ・ 幼稚園、小学校、中学校、高等学校等が連携した健康づくりの推進。
- ・ 災害時の避難や対策等について家庭、地域社会の理解と協力。
- ・ 交通安全や生活安全など地域社会等と協力した環境づくりの推進。
- ・ 障害をもつ児童生徒が健康に生活ができる地域社会づくりの推進。



2 めざす子どもの健康的な生活行動と学校保健委員会の役割

①規則正しい生活の習慣化を図ります。



早寝・早起き



毎日の運動



バランスのとれた
朝・昼・夜の食事

- 食事、運動、休養・睡眠などに関心が薄れ、生活が不規則になってきています。

このため、疲れやすくなったり根気がなくなったりすることがあります。また、この生活の積み重ねが生活習慣病の原因になることもあります。規則正しい生活の習慣を身につけるために、それぞれ何をしたらよいかを話し合います。

②自分の身体の健康づくりや、よい環境づくりを実践する態度の育成を図ります。



よい姿勢



爪、髪の毛など
体の清潔



健康な耳、鼻、
歯・口の健康



適正な照度、
空気、水

- 清潔で健康的な心身の状態を保ったり、よい環境をつくったりする実践力の低下がみられます。このため、一人一人どんなことを実践したらよいかを話し合います。

③「NO!」といえる強い気持ちの育成を図ります。



●喫煙、飲酒、薬物乱用が中・高校生にも広がってきています。子どもが、どんなときでも「NO!」といえるようになるためにはどうすればよいのかを話し合います。

④人間尊重の精神と健全な異性観をもった節度ある態度の育成を図ります。



●心と体の健康を損なう性に関する問題行動が低年齢化してきています。人間としての生き方、在り方の教育や、^{はんらん}氾濫する性に関する情報への適切な対応などを話し合います。

⑤他人の心の痛みが分かる心の育成を図ります。



生活体験、自然体験で
自己実現の喜びを実感する



他人を思いやる
温かい気持ちをもつ



ストレスや不安感を
相談できる友人をもつ

- いじめ、不登校など心の健康問題が深刻化してきています。自己の存在に自信をもつことや他人を思いやる行動、ストレスや心の悩みの解消などについて話し合います。

3 学校保健委員会の開催は「開かれた学校づくり」を推進します

子どもの健康問題の解決には、「学校」、「家庭」、「地域社会」の連携した取り組みで効果が期待できます。また、多様化、深刻化する健康問題への対応には、必要な知識や技能をもった地域の人々や専門家の協力が大きな力となります。

このような方々との連携した取組みや、教育活動への参加協力などについて理解を図る学校保健委員会の開催は、「開かれた学校づくり」を推進するものです。

4 学校保健委員会の活性化で、子どもに「生きる力」をはぐくみます

当面する健康問題、今後当面すると思われる個々人の様々な健康上の問題は、多様かつ複雑な側面をもっていることが予想されます。これらの問題に主体的に対応し、よりよく解決していけるよう子どもの資質や能力、言い換えれば心身の健康の保持増進のための実践力の育成や伸長を図ることが「生きる力」をはぐくむことであり、学校保健活動の目指すところです。

学校保健委員会の役割は、子ども自身の健康的な生活行動の確立等を目指した実践と家庭、地域社会の支援を通して、健康な生活の向上に必要な資質や能力を子どもに培うことでもあり、その活性化は、子どもに「生きる力」をはぐくむことになると言えます。

2

学校保健委員会は、こんな会議です

中学校の学校保健委員会を覗いてみましょう。
議題は「**歯の健康…しっかりかもう**」です。

会議スタート

今日は歯の健康について特に「かむ」ことの働きや大切さについて話合います。



校長

議事に入ります
ここからの司会は
PTA役員さんです。



保健主事

歯科検診の結果むし歯は減っていますが歯列に問題がある人が増えました。「かむ」力が弱くなっているのでしょうか。



養護教諭

給食では、魚や野菜のおひたしなどが残ることが多いようです。



学校栄養職員

家族そろってゆっくり夕食を食べることが少なくなってます。



保護者

現代人は、昔の人に比べてあごが小さくなっています。
かむことは体全体の健康にかかわりがあります。



学校歯科医

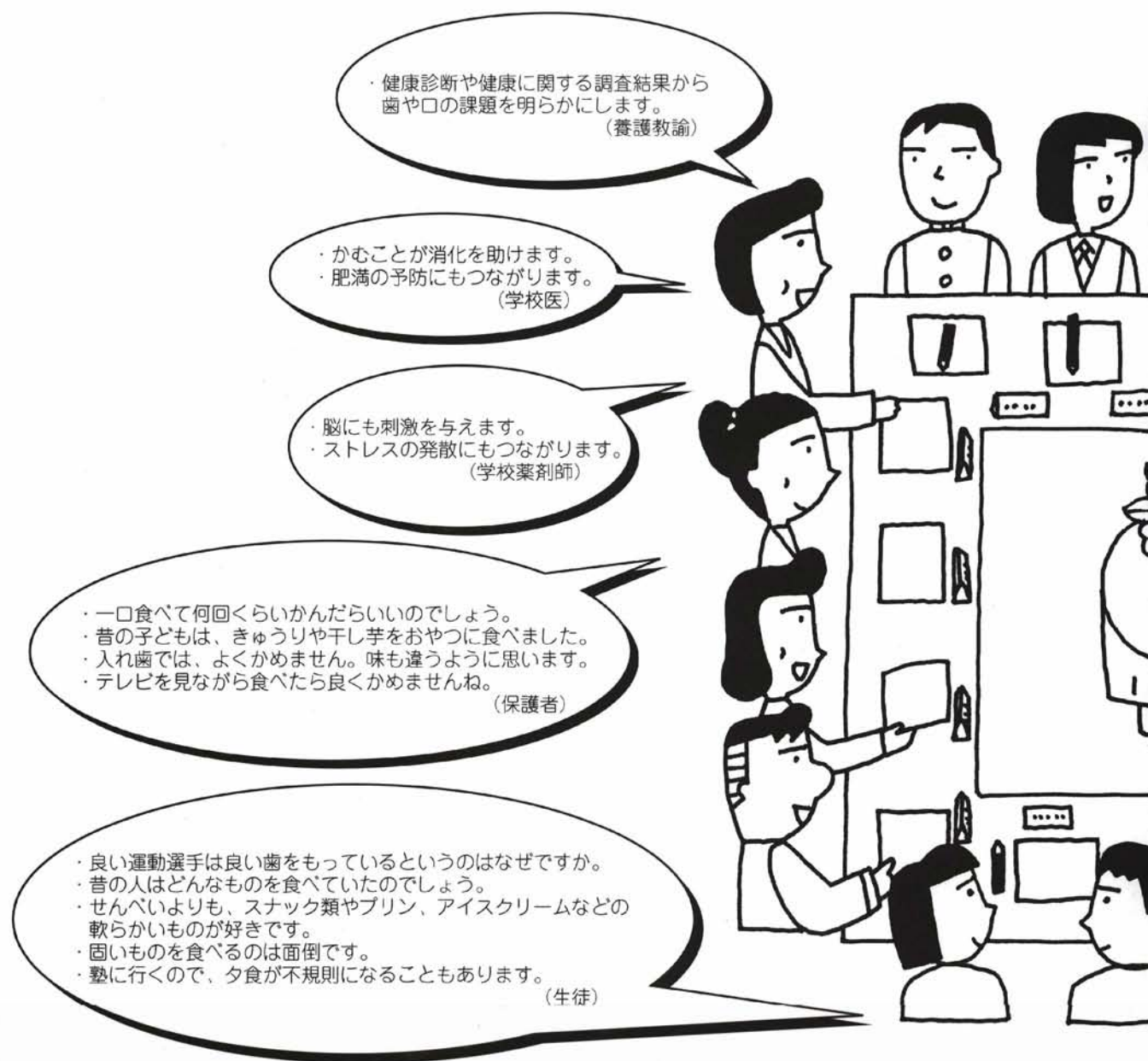
生徒の好きなメニューを調べました。

ハンバーグ、カレー、スパゲティーなどかむことが少ないものが好まれています。



生徒保健委員会

いろいろな意見を出し合います



話し合いの感想

- ・かむことと健康がつながることがわかった。おやつも考えて選ぼうと思う。(生徒)
- ・あまりよくかまずに飲み込んでいることが分かった。(生徒)
- ・給食が工夫されていることが分かった。(保護者)
- ・家庭で献立の工夫をして、歯ごたえのある食品もとりたい。(保護者)
- ・家庭での食生活や給食を残す理由が分かった。(教職員)
- ・かむためには、よい歯づくりが基本であることを確認できた。(養護教諭)
- ・子どもの生活の様子が分かった。(学校医・学校歯科医・学校薬剤師)

試してみました

スルメイカの小さなスティックを参加者全員で試食してみました。

1 本目はいつもの自分噛み方で、何回かむか数えます。

2 本目は、一口で30回かんでみました。

・なぜ、かむことが大切なのでしょう。問題点は何でしょう。
(保健主事)

・子どもの頃から良くかむとあごが発達します。
・左右バランス良く、偏らずにかみましょう。
・かむ力はスポーツにも関係があるのです。
(学校歯科医)

・給食では、食材を大きめに切っています。
・歯ごたえのある和食を献立に取り入れています。
・野菜もしっかり食べてください。
(学校栄養職員)

・歯の矯正をしている生徒が増えました。
・給食の準備を早くして、ゆとりをもって食べる時間を確保しましょう。
(教職員)

・安全で、新鮮な野菜を食べてもらえるよう、努力しています。
よくかむと、野菜の甘みも味わえます。
(地域の野菜生産者)

話し合いの結果

- ・給食試食会を実施する。(PTA)
- ・手作りおやつの講習会を開く。(PTA)
- ・保健集会の講話で、かむことについて話す。(学校歯科医)
- ・かむことに注目した献立作成とPR活動を展開する。(学校栄養職員)
- ・給食時間確保の工夫を実施する。(教職員)
- ・アンケート結果の追跡調査を実施する。(生徒保健委員)
- ・文化祭で展示発表をする。(生徒給食委員)

その後の活動

—よりよい生活の実現を目指して—

職員会議で

食事時間を確保し、かむことの大切さについて指導していきましょう。



委員会活動で

「たより」でみんなに知らせよう。
文化祭で発表しよう。



学級で

学校保健委員会の報告をします。
ゆっくり、しっかりかんで食べましょう。



PTA活動で

料理講習会を実施しましょう。
給食の試食会も開きたいですね。



家庭で

かみごたえのある食べ物は何か。
おたよりに載っているよ。



保育園を訪問して

しっかりかんで、元気な子になろうね。



地域の商店で

野菜は、歯の健康にも役立ちます。



3

学校保健委員会の進め方

1 年間計画の立てかた

学校保健委員会の運営を効果的に進めるには、学校保健計画に位置づけ、見通しを持って年間計画を立てることが大切です。

【開催目標 年5～6回】

児童生徒の心と体の健康の問題が深刻化していく中で、それらの問題解決を推進していくためには、毎学期1～2回開催することをお勧めします。また、感染症の大流行や薬物やいじめなどの問題が発生したときは、臨時に開催することが必要です。

【Plan Do Seeを意識して】

学校保健委員会の成果をあげるためには、計画・実践・評価が大切です。年間計画を立てる場合、自校の健康課題や、家庭・地域に連なる問題など解決したい内容を絞りこみましょう。また、健康問題の解決や健康づくりの推進のためには、開催後の参加者の取り組みが重要となってきます。

家庭は「憩いの場」であると同時に、「教育の場」です。また、地域社会は児童生徒にとって「生活の場」であり、望ましい生き方にふれて学ぶ「学習の場」でもあります。学校、家庭、地域社会の理解と信頼・協力をベースに、心と体の健康づくりを推進しましょう。

学校保健委員会開催の流れ

計 画	準 備	実 施	事後活動
・ 組織づくり ・ 年間計画の作成 ・ 職員会議での提案及び協議 ・ 関係者との調整	・ 期日や議題の決定 ・ 関係者への連絡 ・ 運営の役割分担 ・ 資料や運営案作成 ・ 当日の準備	・ 会場の設営 ・ 提案、報告、発表 ・ 参加者全員の協議	・ 記録の整理と報告（教職員、保護者、児童生徒など） ・ 関係者の取り組み ・ 反省と評価

2 組織の構成

①学校の課題に応じたメンバーの構成

学校が当面する健康課題の解決に役立つ、生きて働く組織を考えましょう。

学校保健委員会は、学校と家庭、地域社会が連携して、子どもたちの健康問題の解決を推進していくものです。組織づくりのポイントは、それぞれの学校の実態にてらして、どのような健康問題を解決したいのかを明確にし、その上で構成メンバーを考えましょう。

組織構成の視点・・・①目的（なんのために）

②問題・課題（なにを）

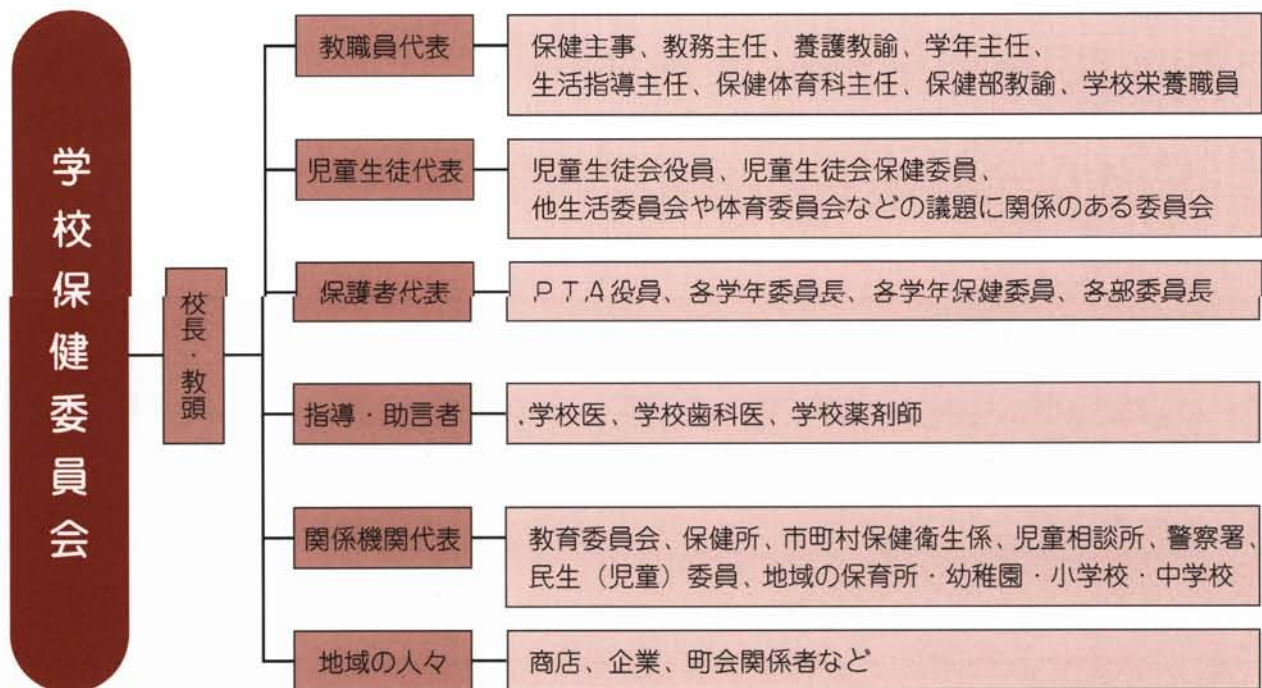
③対策（どのようにするのか）

固定的な観念にとらわれず、機能を重視し、問題解決に活用できる組織を目指す。

積極的に児童生徒や保護者をメンバーに加えましょう。

学校保健委員会の活動は、児童生徒の健康問題の解決や健康づくりの推進に組織として一体的に取り組むことが重要となっています。ですから、健康づくりの主体である児童生徒や保護者をできるだけ多く構成メンバーに加えることが望ましいと考えられます。

学校保健委員会構成例



● 学校保健委員会の議題と参加者例 ●

【喫煙・飲酒・薬物乱用防止について】

教職員代表……………保健主事、生徒指導主事・生活指導主任、教務主任、保健体育科主任、養護教諭、保健部教諭

児童生徒代表……………児童生徒会役員、児童生徒保健委員

保護者代表……………PTA役員、各学年委員長、各学年保健委員、各部委員長

指導、助言者……………学校医、学校歯科医、学校薬剤師

地域・関係機関代表……保健所、警察署、少年補導員、地区・町会関係者、教育委員会

【結核など感染症予防について】

教職員代表……………保健主事、教務主任、学年主任、保健体育科主任、養護教諭、保健部教諭、学校栄養職員

児童生徒代表……………児童生徒会役員、児童生徒会保健委員

保護者代表……………PTA役員、各学年委員長、各学年保健委員、各部委員長

指導、助言者……………学校医、学校歯科医、学校薬剤師

地域・関係機関代表……教育委員会、保健所、市町村保健衛生係、地域内の学校など

【登下校の安全について】

教職員代表、児童生徒代表、保護者代表は、上記2例に準ずる。

地域の関係機関・団体代表……警察署、交通安全協会、地域内の学校、教育委員会、公園や道路管理者、商店、企業、町会関係者など

地域の人材の活用

議題により、地域の様々な人々を訪ねたり、委員会に参加していただいたりして多様な課題の解決を図りましょう。

- ・保健所職員　・区長、民生委員　・栄養士、給食従事者　・福祉施設職員　・行政関係者
- ・ALT　・ボランティア活動をしている人　・商店など自営業者
- ・学校医、学校歯科医以外の医師（産婦人科、精神科、小児神経科、歯科医師等）、薬剤師
- ・地区内の他の学校の教師、児童生徒　・その他

②メンバーの役割

それぞれのメンバーは、子どもの健康問題を把握し解決したり、健康づくりを推進したりするために、互いに連携し、協力しながら子どもたちの健康づくりを進めましょう。

地域関係者

学校教育活動など学校保健の方針や指導について、理解を深め、地域での健康問題をさまざまな角度で支援協力しましょう。



地域の機関・団体

地域の保健所や医療機関、警察署、消防署、医師会、教育委員会などの協力体制を整えましょう。

また、状況により、近隣の学校とも連携を密にしましょう。



こどもの健康

保護者・PTA

健康づくりの主人公は子どもです。しかし、変容に直接かわる保護者やPTAの役割は大変大きく、子ども同様、実践の主人公です。



学年主任・学級担任

- ・学年・学級は楽しく…学習、遊び、休養などライフスタイルの基礎を習得させます。
- ・委員会で話し合われた事をもとに保健指導等を行います。



学校栄養職員

おいしい、バランスのとれた給食を通じて心と体の健康づくりに努めます。



学校医・学校歯科医・

学校薬剤師

- ・委員会の年間計画作成に参画し、指導助言します。
- ・学校の実態を踏まえ、専門的立場から指導助言します。
- ・学校・家庭・地域での実践にあたって、指導助言します。

つくりの支援



児童生徒

自分や友だちの健康を考え、毎日の生活の中で進んで、健康づくりに取り組みましょう。



教務主任

保健・安全・栄養・生活・学習など各分野の教職員と連絡を密にします。



校長・教頭

- ・心豊かでたくましい子どもを育てる身近な話題を求めています。
- ・委員会の趣旨や仕事の内容について全職員に周知させます。



学校職員

保健主事

- ・委員会が円滑に運営できるよう関係者と連絡調整、準備・資料づくりにあたります。
- ・委員会で話し合われたことについて学校内での趣旨徹底に努めます。



養護教諭

- ・保健主事と力を合わせて会の計画・運営、推進に当たります。

生徒指導の担当

学校生活を楽しく、さわやかで、思いやりや協力の心を育てます。



保健体育・安全の担当

楽しく子どもがけがもなく思う存分運動や遊びができるようにし、体や心の健全な発育・発達を考えます。

3 議題の選び方

病気の予防・体力づくり ・うがい手洗いをしよう ・かぜの予防 ・うんこの話 ・体温の変化 ・疲れとストレス ・遊びと体 ・運動と健康 ・生活のリズムを考えよう ・バイキンたちはどこにいる ・上手な睡眠のとりかた ・体にあった机とイス ・コレステロールって何だろう ・O157の対策 ・食中毒を防ごう ・気候に合った服装 ・夏（冬）の健康 ・体力づくり ・正しい姿勢	目・耳・鼻の健康 ・視力の低下 ・目を大切に ・部屋の照明 ・花粉症って何だろう ・テレビゲームと目 ・ヘッドホーン難聴 ・ドライアイって何だろう ・コンタクトレンズと目の健康 ・健康診断の結果から ・耳・鼻の健康 ・アレルギー
心の問題 ・あいさつ運動 ・休日の過ごし方 ・心身のリフレッシュ ・心の悩み ・心の相談室の活用 ・いじめを防ごう ・親子のふれあい ・家族の役割 ・ストレス	議 題 それぞれの学校で表現
薬物・喫煙・飲酒 ・タバコと健康 ・主流煙と副流煙 ・薬についての正しい知識 ・薬物乱用について ・絶対しません「薬物乱用」 ・飲酒・喫煙、様々な誘惑	安 全 ・応急手当の仕方 ・登下校の安全 ・安全な自転車の乗り方 ・ヘルメットの着用 ・プールの使い方 ・もし災害がおこったら ・校内のケガの発生と予防 ・救急法を知ろう ・交通事故を防ごう

歯と口の健康

- ・むし歯はなぜできる
- ・歯に良い食べ物
- ・8020運動を進めよう
- ・歯の治療
- ・歯周病って何だろう
- ・染め出しテスト
- ・良くかんで食べよう
- ・家族みんなで、むし歯予防
- ・左右でかんでいますか
- ・お年寄りに聞いた歯の健康
- ・歯ブラシと歯みがき粉
- ・歯と体のつながり
- ・プラークコントロールって何だろう

食生活

- ・楽しい給食
- ・おやつの取り方
- ・お弁当の工夫
- ・体に良い飲み物
- ・清涼飲料水の糖分
- ・肥満と予防
- ・頭が良くなる食事
- ・糖分と塩分
- ・食物とアレルギー
- ・心を育てる食生活
- ・元気のでる朝食のとり方
- ・バランスのとれた食事
- ・ダイエットについて考えよう
- ・食生活と生活習慣病
- ・丈夫な骨をつくろう
- ・昔と今、食生活の変化
- ・食品添加物と健康

の 例**の工夫をしましょう****命・性・エイズ**

- ・私達の性意識
- ・思春期の心と体
- ・命って何だろう
- ・自分を好きになろう
- ・お年寄りに学ぶこと
- ・からだの成長と変化
- ・マスコミと性情報
- ・エイズについて考えよう

環 境

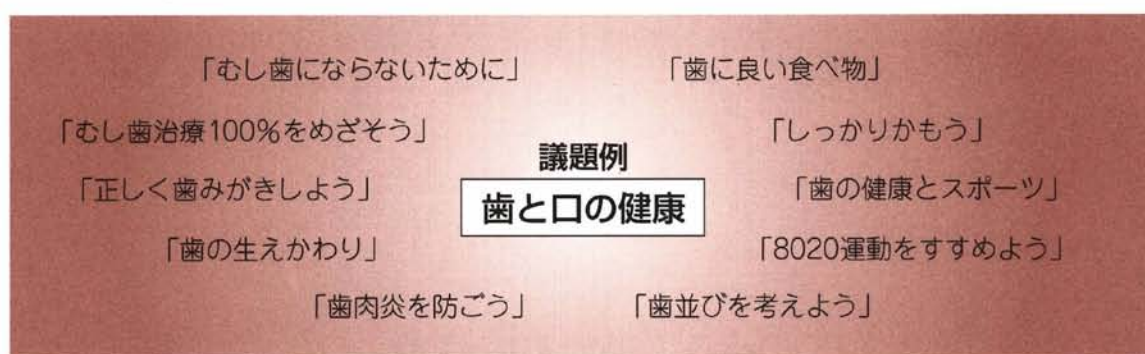
- ・自然とのふれあい
- ・学校の環境
- ・私達にできるリサイクル
- ・私たちにできる環境保護
- ・ゴミの分別とリサイクル開始
- ・ダイオキシン
- ・合成洗剤と石鹼
- ・清掃について考えよう
- ・空気と私達の体

そ の 他

- ・しらみの流行と退治
- ・茶髪・ピアスを考えよう
- ・受験期の健康
- ・私たちにできるボランティア

学校保健委員会の成果をあげるために、議題の設定の仕方が大切です。

- ◆自校の健康課題や、緊急の課題、家庭や地域に連なる問題などを議題に設定します。内容を絞り、できるだけ具体的な議題にしましょう。話し合いが活発になり、参加者の意識の変容が期待できます。学校と家庭の役割が明確になり、実践の手だてがイメージできるような議題を選びましょう。
- ◆たとえば、歯と口の健康をテーマとする場合でも、様々な切り口から話し合いを進めることができます。



- ◆年間を通してメインテーマをつくり、1年かけて様々な角度から話し合いを積み重ねることも効果的です。

今年度のテーマ「食生活を見直そう」

年間5回開催の場合の議題例

- 第1回（5月）「しっかり食べよう朝ごはん」
- 第2回（7月）「食中毒の予防」
- 第3回（10月）「生活習慣病と食事」
- 第4回（12月）「食品添加物と健康」
- 第5回（2月）「心を育てる食生活」

- ◆それぞれの校種にあわせて、議題の表現を工夫しましょう。

校種にあわせた議題（目の健康）

- | | |
|------|--------------------|
| 小学校 | 「テレビゲームと目」 |
| 中学校 | 「視力低下を防ごう」 |
| 高等学校 | 「眼鏡・コンタクトレンズと目の健康」 |

4 準 備

保健主事は、養護教諭と協力し、校内でのリーダーシップをとって、準備を進めましょう。

①会議をスムーズに行うために

学校保健委員会の計画、準備、実施、記録、報告をスムーズに行うために、運営案があると便利です。

【運営案を活用すれば】

- ・会の前後の流れを把握することができ、時間を有効に使って準備ができます。
- ・会の目的が明確になり、いろいろな人に協力してもらうことができます。
- ・誰が司会者になっても、落ち着いて会を進行することができます。
- ・会のアドバイザーに、適切な意見を準備してもらうことができます。
- ・会に出席できない職員に、会の様子を伝えられます。
- ・会の記録が残り、話し合いを継続する時の資料になります。
- ・会運営の反省点が明らかになり、新たな課題の発見も可能です。

【運営案例】

平成○年度 第○回 学校保健委員会運営案

○○学校 保健部

- | | | |
|--|---|-----|
| 1 日 時・場 所 | 平成○年○月○日 (○) 3時30分～4時30分 | 会議室 |
| 2 議 題 | 「歯の健康…しっかりかもう」 | |
| 3 ねらい | (1) かむことがあごの発達や姿勢など、からだ全体の健康に大きくかかわっていることに気づく。
(2) かみごたえのある食べ物を、どうやって食生活に取り入れたらよいか工夫をする。 | |
| <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> この日の会議の目当てを明らかにする </div> | | |
| 4 他の活動との関連 | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 今までの学校保健委員会と本会のつながりや、学校行事・特別活動・教科等との関連を考える </div> | |
| | ・歯科検診…4月
・むし歯予防ポスター作成（美術科）…5月
・歯科講話（保健集会）…6月
・染め出しテスト（学級活動）…6月 | |

5 事前の活動

それぞれの立場でど
のような準備や活動
をするか書く

生徒保健委員・保健部職員…噛むことに関するアンケート調査と

結果のまとめ。資料作成。

保健主事・養護教諭

…学校歯科医と打ち合わせ

学校栄養職員

…資料準備。

良くかむための給食メニューの工夫。

学校医、学校歯科医、学校薬剤師

…生徒から出された質問に答える準備。

6 議事の展開

全体の司会…保健主事 議事の進行…PTA保健委員

本日の参加者…学校保健員会メンバー、歯科衛生士、地域老人会代表

準備…掲示資料、試食品（スルメイカ・スナック小魚）

議事の流れ	時間	児童生徒	保護者	教職員	学校医・ 学校歯科医・ 学校薬剤師	その他の 参加者
問題提起 歯と噛むこと の現状を知る	10	アンケート の結果報告	家庭の様 子を話す	給食時の様 子を伝える	検診で気 づいた事 を話す	生徒の様 子を知る
感想発表	5	それぞれの立場で気づいたことを出し合う。				
実 験 「かむ」実験	10	普段の食べ方でスルメイカを試食 かむことを意識して試食				
話し合い	20	歯とかむことに関する疑問を出し合い、話し合う。				
アドバイス まとめ	10	かむことの大切さに気 づく。これから実行し ようと思う事を確認す る。		かむことと 給食につい てアドバイ スする。	質問に答 えアドバイ スする。	体験から 感じた事 を伝える
次回の予告	5	次回の議題を知り、次回にむけて課題を持つ。				

7 事後の活動

それぞれの参加者の
事後の活動を書く

生徒保健委員…クラスへの伝達、たより作成

担当教師…職員への報告、保健だより作成

学校栄養職員…給食だより発行、保護者の給食試食会実施

保護者…学校保健委員会だより発行、家庭での献立工夫

学校歯科医…保健集会で講話

②関係者への開催案内

学校保健委員会開催の案内状を、4～2週間前に参加者に届け、日時・場所・議題などを知らせます。委員会のメンバー以外の人を招く場合は、あらかじめ会の主旨を説明し、参加のお願いをします。

出欠の返事をいただき、参加者を把握しましょう。

【開催案内の例】

平成 年 月 日

○ ○ ○ ○様

○○立○○○学校長
○ ○ ○ ○

学校保健委員会開催のお知らせ

(時候の挨拶…………… 略 ……………。)

日頃の本校学校保健活動へのご協力、ご支援ありがとうございます。

さて、このたび本年度第○回学校保健委員会を下記のとおり開催しますので、ご出席
くださいますよう、お願い申し上げます。

記

1 日 時

平成○年○月○日 (○) ○時から○時まで

2 場 所

本校 会議室

3 議 題

(1) ○○○について
(2) その他

③資料の準備

児童生徒の現状を理解するために参考となるデータや、協議内容に関連のある資料を用意しましょう。

保健委員会作成の資料だけでなく、授業やクラブ活動の中で作成した資料や、他の委員会が作成した資料も有効に活用できます。資料の準備に、たくさんの人々に関わってもらうことが会の活性化にもつながります。

また、会で使ったプリントや掲示資料、VTR資料は、保健集会や学級での事後の活動にも活用できます。

【プリント資料等の例】

- ・当日の流れがわかる「次第」
- ・健康診断の結果など児童生徒の実態報告
- ・児童生徒、保護者へのアンケート集計の表やグラフ
- ・新聞記事や雑誌、書籍などからの情報



【写真、掲示、展示資料】

- ・写真パネル
- ・調べたことをまとめた図や表、掲示物
- ・話し合いの中で話題となる実物を展示（食材・ペットボトル・歯の模型・etc.）



【VTR資料例】

- ・子ども達の様子をビデオカメラに収めたものを会で視聴し、問題提起場面で活用します。
- ・会に参加できない人へのインタビューを収録したものを、視聴し話し合いの中で活用します。
- ・その他参考となる映像資料を、一緒に視聴し、意見交換します。

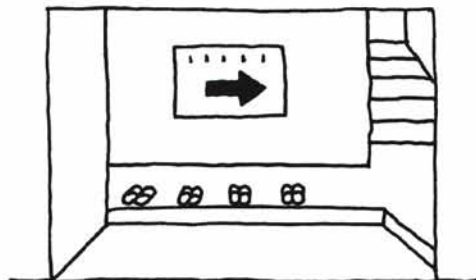
5 当日の運営

保健主事は、朝の連絡会や校内放送を通じて、教職員と児童生徒に学校保健委員会の開催を確認します。今日の会の議題を知ってもらい、協力をお願いするとともに、関心を促しましょう。

参加者の役割分担や会の計画をもう一度確かめ、細かい準備をすすめましょう。

①会場づくり

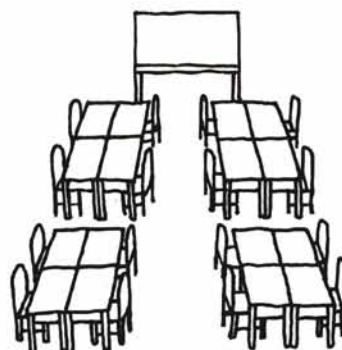
- ・会議室や図書室など参加人数にあった**会場**を準備します。
- ・玄関から会場への**案内板**があると親切です。
- ・会場の**机**の並べ方はお互いの顔が見えるよう、向き合った会議形式が基本です。
- ・グループ討論ができるように、いくつかのブロックに分けたり、会の中で使用する資料を囲んで並ぶ形も考えられます。



- ・黒板に会議の流れを示します。



- ・机の上に**ネームプレート**を置き参加者相互の親しみをもたせます。



- ・内容と関連した資料を作成し、掲示します。



- ・花を飾るなど、雰囲気作りに心がけましょう。



②会の進行

司 会

… 議題や学校の実情によって司会者を決めます。

教師、保護者、児童生徒などいろいろな人の司会が考えられます。会全体の司会と議題についての司会を分けることもできます。年間を通して同じ司会者でもよいし、時には司会者を交代することも、意識が高まり効果的です。

活発な意見交換が行われるよう、司会者は全体を見渡して、様々な立場の参加者から意見を引き出しましょう。

記 録

… 会で話し合われたことや、当日の出席者名をノートに記録し、事後の報告や活動に役立てます。会の様子をビデオカメラに収録し、参加できなかった人に見てもらうことも有効です。

開 始 時 間

… 参加者それぞれの事情を考え、出席しやすい時間帯を設定します。

授業・休み時間・清掃・帰りの会・部活動等の時間のやりくりを校内で話し合い、児童生徒も参加できるようにしましょう。

会 議 時 間

… 1時間程度が目安です。

予定時刻に始め、予定時刻に終了することを守りましょう。

話し合いをだらだらと延長せずに、決められた時間がきたら、まとめをして会を終了させます。そのためにも、説明や報告などは要領よく短めにします。会議時間を厳守することが、長い目でみると会の活性化につながります。

終 了 後

… 参加者に感想メモを出してもらいましょう。会の終了後その場で書いてもらうか、後日提出してもらいます。出し切れなかった意見や今後の活動のヒントが得られます。

時間のゆとりがある人が残って、茶話会を持つなどの工夫もできます。自由な議論が展開され、活動の輪がさらに深まり、広がります。

③活性化への工夫

学校保健委員会の中で、活発な話し合いが行われるために、また、話し合ったことを実践につなげるために、さまざまな工夫を取り入れましょう。

【体験的な活動を取り入れて】

会の内容が豊かになり、楽しく、しっかり身に付きます。

- ・クイズ形式で考える
(○×カードや色カードを使って)



- ・ ロールプレイング、プレーンストーミングなどをする



- ・ 簡単な実験を行う。
(細菌の検査)



- (食品に使われている着色料を調べる)



- ・ その場で体験する。
(手作りおやつの試食)



- (ジュースの糖分調べ)



【機器の活用が効果的】

様々な問題を提起したり、子ども達の様子を具体的に伝えることなどができ、円滑な活動に結び付けます。

- ・ スライド、OHP等

…表やグラフ、綴じ込み資料に
できなかった資料の提示等



- ・ OHC、デジタルカメラ等

…写真や小さな資料の拡大
会場に持ち込めない資料の紹介等



- ・ ビデオカメラ、VTR

…インタビューなどの取材活動
情報提供資料



- ・ コンピュータ

…インターネットを活用した情報収集
表やグラフの作成。



- ・ ビデオプロジェクター…より大きな画面、コンピュータとの連動。

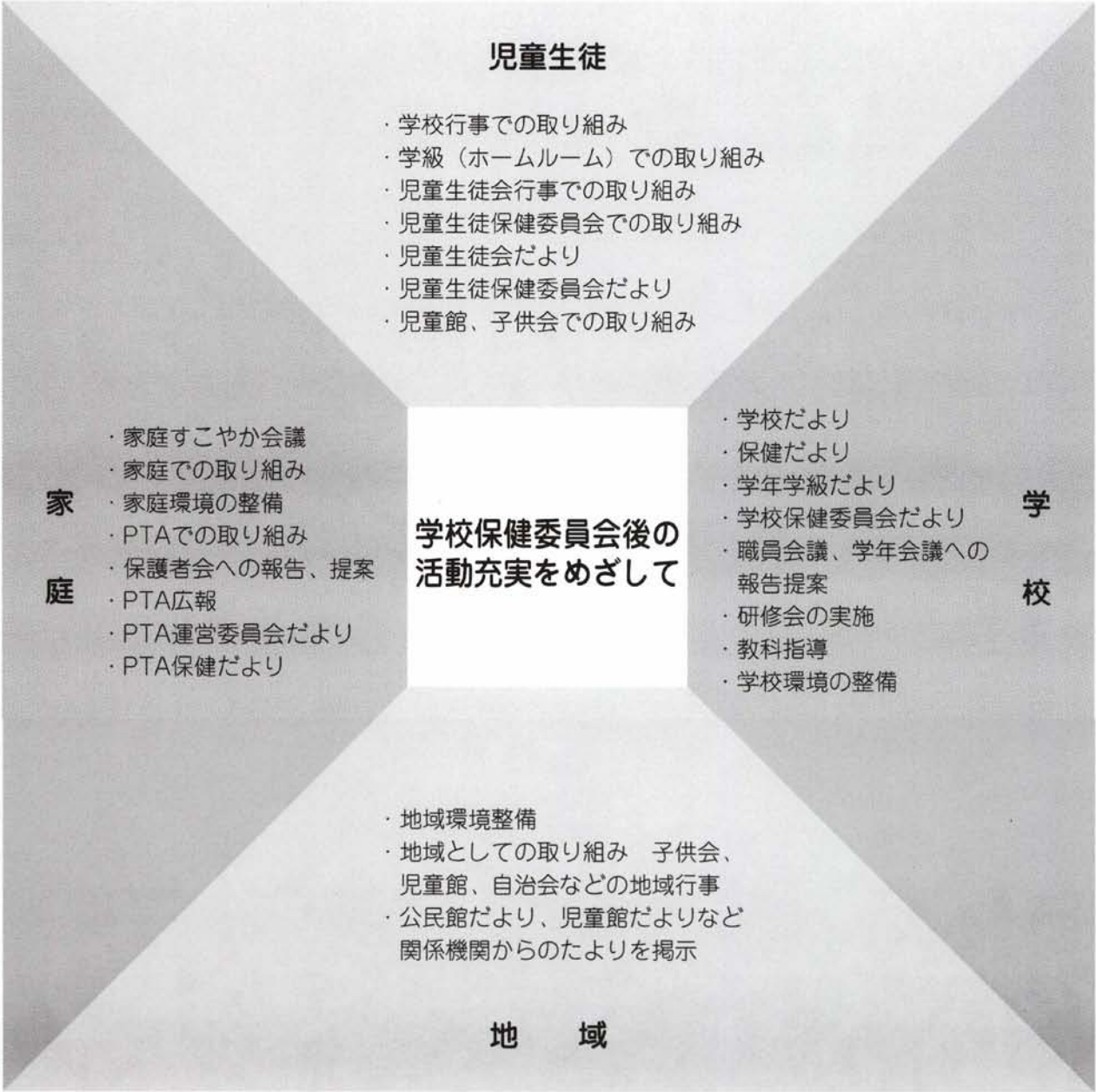


6 学校保健委員会の事後活動と評価

学校保健委員会を開催してみて、どうだったでしょうか。

「開いて良かった！」と、次回が楽しみに待たれるような運営だったでしょうか。学校保健委員会開催のめざすものは、子どもの健康問題を解決し、健康づくりを推進することにあります。そのため、その後の活動が大変重要となってきます。また、協議された事項のその後の活動が、有機的に結び付くことで効果が期待できます。

①事後の活動



② 評価

次回をさらによくするためにも、評価は大切です。

学校保健委員会は、児童生徒の心身の健康の保持増進につながるものです。ですから、その評価は計画の立案から実施にいたるまでの経過、手順や方法、内容および活動の成果などについて総合的に実施しなければなりません。その際、次の活動の改善ができるように配慮して行うことが大切です。

【保健主事の仕事】

- 保健主事は、学校保健委員会終了後、協議された内容に関し、それぞれの活動内容が計画的に進められるように働きかけましょう。また、その内容が多岐に渡っているため、職員会議などで報告をするとともに、今後の活動計画についても、だれでもはっきりと分かるようにしましょう。全職員の共通理解を図ることが大切です。
- 保健主事は養護教諭と協力し、評価の観点および内容の設定、評価の実施、評価結果の分析を行いましょう。そして、的確な問題把握と問題解決を積極的にすすめましょう。
- 自校の学校保健委員会をさらに魅力的なものにするために、他校の学校保健委員会との情報交換をすると新しいアイデアやヒントが得られ、それぞれの学校保健委員会の活性化が図られ、充実します。（他校の学校保健委員会の参観など）

【評価のチェックポイント】

評価基準
A：大変良い
B：良い
C：改善を要する

	評価内容	評価の観点	評価基準	反省・課題・提言
1	計 画	①教育計画や学校保健計画に位置づけられているか ②日程・時間帯は適切であったか	A B C A B C	
2	構成 メンバー	①課題解決に適した構成メンバーであったか ②関係機関や地域の人の力を本会に生かせたか	A B C A B C	
3	運 営	①自校の実態に即し、課題解決が図られるような議題であったか ②当日の会のねらいは関係者に周知徹底されたか ③資料の準備はテーマにそったものが用意されたか ④会場の設営は適切だったか ⑤参加者が主体的にかかわるような運営が工夫されたか ⑥会の進行はスムーズだったか	A B C A B C A B C A B C A B C A B C	
4	成 果	①それぞれの参加者が行う事後の活動が明確になったか ②事後の活動は、実施されたか ③望ましい変容がみられたか	A B C A B C A B C	

4

わたしたちの学校はこうにしています

1 年間に複数の議題を取り上げ、児童も参加して取り組む例

—小学校学校保健委員会の開催例—

1. 学校保健委員会の実情

(1) 特 色

子どもの意識や考えを生かした会議

- ・ 会議の名称「すくすく会議」
- ・ 保健学習と関連させている
- ・ 開催時間を1時間に限定している

(2) 学校教育目標との関わり

- ・ めざす児童像： 「明るい子」「がんばる子」「考える子」
- ・ めざす児童像具現化の視点：

家庭、地域や学校の支援を受けながら自分の健康問題の解決に努め、「自分の健康を自分で守る」能力や態度を養う。この能力や態度は、自分たちの生活や学習に、明るく主体的にかかわるといふ本校のめざす児童像の具現化に資するものである。

(3) 年間議題例

- ・ かみかみ実験、歯みがきの基本を知ろう
- ・ わたし、ぼくはどのくらいむし歯になりやすいの？
- ・ じょうずな手洗いをしよう
- ・ わたしたちの健康を害するもの～喫煙、飲酒、薬物乱用～

2. 学校保健委員会の開催

(1) 議 題 「もし喫煙やアルコール飲料をすすめられたらどうしますか？」

(2) 実施日時 平成○年2月9日(月) 午後3時～4時

(3) 議題設定の理由

- ・喫煙、飲酒等が家庭内で、児童にも勧められることもある
- ・梅酒は、からだによいということで飲まされることもある
- ・大人がリラックスして飲む酒や食後の喫煙の態度などは児童にも興味を抱かせる
- ・これらが喫煙や飲酒を安易に行うきっかけとなることも考えられる
- ・正しい知識、子どもを育てる環境の重要性の認識を深める必要がある
- ・保健学習の調べ学習の内容を発表できるので児童に成就感を味わわせられる

(4) ねらい

- ・喫煙やアルコール飲料は、からだの成長によくない影響を及ぼすことを知り、勧められてもことわることができるようにする
- ・子どもの生活やその環境に配慮するとともに、家族みんなで喫煙やアルコール飲料等に対する節度ある態度が取れるよう意識を高める

(5) 事前準備

学校（保健主事）……学校医、学校薬剤師と議題について打ち合わせ

関係者へ開催通知等の発送

児童保健委員 ………家庭等における自分たちの健康問題を話し合い議題をまとめる
調べ学習、アンケートの実施、まとめ

職員保健部 ………調べ学習、アンケートの実施等の支援、議題に沿ったまとめの
支援

保護者保健部 ………議題に基づき、家庭の様子、自分の体験などを把握

町会関係者 ………自動販売機等の設置場所や付近の様子などの把握

学校医、学校歯科医、学校薬剤師にポイントをしぼったアドバイスをいただく。

(6) 議事の流れ等

議事の流れ	児童保健委員会 児童代表委員会	PTA役員 町会 保護者保健部等	学校職員	学校医 学校薬剤師
1 問題をつかむ	問題提起 アンケート結果報告	問題の理解 質問	補助説明	問題の理解 質問
2 喫煙、飲酒の健康への害を理解する	調べ学習の発表 (模造紙や紙芝居等) 質問等	感想 質問	発表についての支援、 感想	発表についての評価 喫煙、飲酒の成長期の 人体への影響

3 参加者の考えを出し合い取り組みについて考える	よりよい生活行動のあり方について自分たちの考えや意見、方策等を話し合う 体験談などを出し合い、取り組みの見通しを持ったり意欲を高めたりする			
4 それぞれの具体的な取り組みを決める	○自分たちが日常実践できることを確認する ・生活行動の面で ・意識の面で ・子どもの飲物 ・家族への理解 ・明るい雰囲気の家 庭 ・子どもの考えを生 かし自主的な行動 へ ・保健教育の推進 ・健康相談 ・保健教育への助力			
5 この話し合ったことをどのように全体に広げ実践していくかを考える	児童代表委員会、児童保健委員会で行うことを話し合い、実践の手順を確認するなど	P T Aだよりに掲載学級懇談会での報告等で実践化をうながすことなどを報告してもらうことの確認など	教職員への報告や内容について保健指導に生かすこと、すすく会議だよりで各家庭での実践化の意識を高める工夫	家庭、地域、学校等のよき健康づくりのアドバイザーとして活動
6 次回の予告	・今回話し合ったことの実践や、その感想などについて ・次回の議題や開催予定日について			

(7) 事後の活動

- ・参加者はそれぞれの分野で活動し、実践化を図る
- ・実践活動や取り組みの感想等について学校と連絡を取り合って進める

(8) 成果と課題

- 児 童 … ・保健学習で取り組んだ調べ学習の成果が生かせたり、家庭、地域等の方々の支援を実感したりして生活全般に明るさや意欲が見られるようになってきている
- ・親の喫煙、飲酒の行動や態度に助言する子どもも見られる など
- 家 庭 等 … ・子どもの生活行動に気をくばり、担任等と連絡を取り合ったりする家庭が増えてきた など
- 学 校 … ・めざす児童像に家庭等と連携して取り組める空気の醸成ができてきた
- ・健康づくりの取り組みを見直し、さらに充実させるには学期2回程度の学校保健委員会が必要である

2 年間テーマを設定して、5回計画で取り組む例

—中学校学校保健委員会の開催例—

1. 本校の学校保健委員会の取り組み

本校は、年に5回の学校保健委員会を開催し、健康教育、学校保健活動の推進を図っている。特に緊急の健康課題がある場合には、年間を通したテーマを設定して、そのテーマにそって様々な方向からのアプローチを試みている。

今年度は、年間テーマとして「心の健康」を掲げた。

第1回「学校保健委員会組織づくり・心の健康を考えよう」

第2回「中学生の悩み」

第3回「命って何だろう」

第4回「私達をとりまくいろいろな誘惑～タバコ・薬物～」

第5回「心と食生活」

年度前半は、学校職員や生徒保健委員からの問題提起を元に、生徒の実態調査や調べ学習を進め、学校保健委員会の資料を作成する。後半は保護者からの問題提起や実践的な活動を取り入れて会を進める。参加者による話し合いだけでなく、体験学習などを効果的に取り入れて、判断力や実践力が身に付く学校保健委員会の運営を目指している。

参加者…校長・教頭・保健主事・養護教諭・学校栄養職員・給食主任・安全主任・性教育主任・学校医・学校歯科医・学校薬剤師・PTA会長・PTA本部役員・PTA保健委員・生徒保健委員・生徒会本部役員等約40名。

2. 実践例（本年度 第2回 学校保健委員会）

(1) 議 題 心の健康 ～中学生の悩み～

(2) 実施日時・場所 7月1日(水) 15:40～16:40 図書室

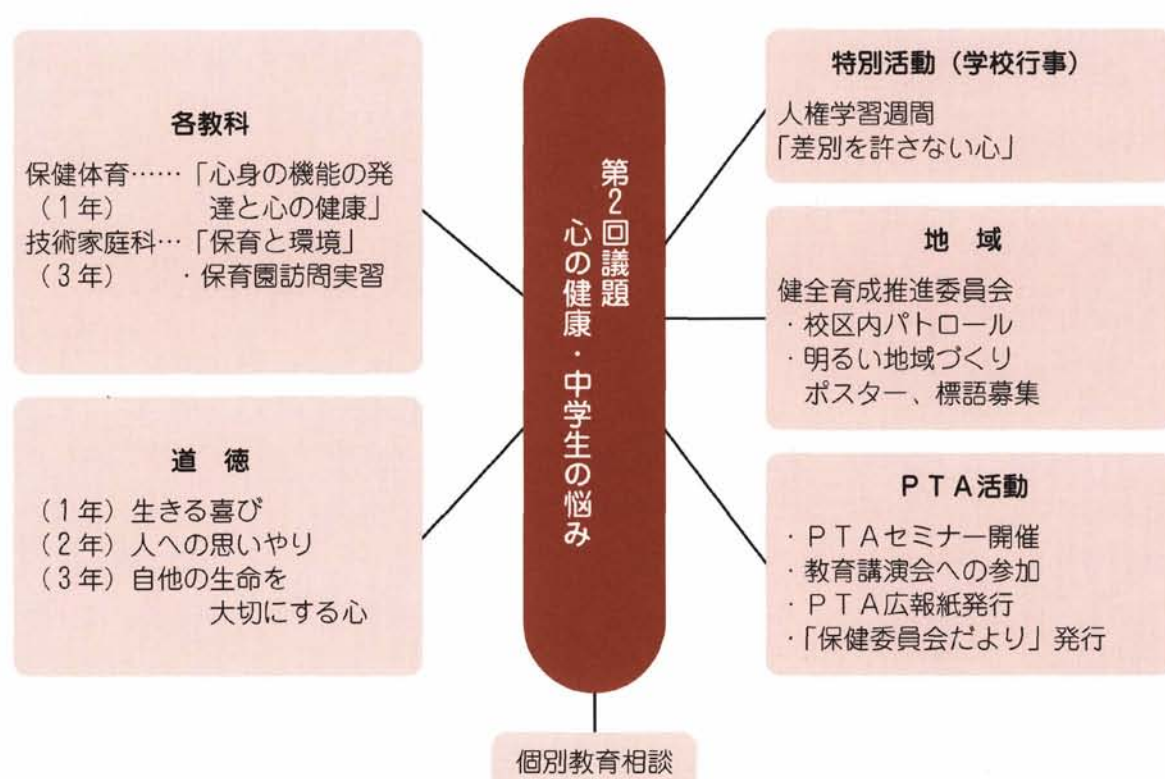
(3) 議題設定の理由

心身ともに不安定な中学生の悩みの実情を明らかにするとともに、その悩みをどのように受け止め、乗り越えていったらよいか、参加者それぞれの立場から解決の方法を話し合い、中学生の心の健康と、たくましく生きる力を支援したい。

(4) 活動のねらい

- ・ 本校生徒は今、どのような悩みを抱えているか知る。
- ・ 思春期である中学生の心身の特性を理解し、解決の糸口を探る。

(5) 議題と各種活動、教科との関連



(6) 活動計画

- ・ 生徒保健委員 } 議題設定の話し合い
- ・ 保健部教師 } アンケートの作成、実施、結果の集計とまとめ
資料作成。記録用紙に感想意見をメモする
- ・ 保護者保健委員 …… 議題を知り、中学生時代の悩みや体験を思い出す。
- ・ 学校医、学校歯科医、学校薬剤師 …… 議題とアンケート結果資料に目を通し問題点把握。
中学生の心身の発達の特性と悩み解決のアドバイスを考える。

(7) 議事の流れ

準備…資料・OHC・考察のメモ

議事の流れ	生徒保健委員 生徒会役員	保護者保健委員 PTA本部役員	保主・養教・他教師	学校医・学校歯科医・ 学校薬剤師
1 アンケートの結果報告と問題提起	保健委員会作成アンケートの集計結果を学年ごとに報告する	子ども達の悩みを知る	人権週間設定の理由・計画と人権アンケートの結果を報告する	子ども達の悩みを知る
2 アンケート結果から気づいたことを話し合う	集計して気づいたことや学年による悩みの違いについて考えを発表する	・アンケートから読み取れる中学生の姿について感想を述べる ・学年による悩みの傾向をつかむ ・中学生の心情について、生徒に質問する		
3 中学生時代の悩みとそれを乗り越えた体験について話し合う	大人への質問をする	・中学生時代の悩みにどんなものがあったか、それをどう克服したか、体験を語る ・中学生へのアドバイスを伝える		
4 悩みの解決方法について考える	悩みを相談できる環境を、どのように整え、作っていけばよいか話し合う。家庭でできること、学校でできること、子どもにできること、大人にできることを確認する。			
5 それぞれの立場で何をするか考える	たより発行 ビデオ作成	親子の話し合い	委員会活動への支援、 環境作り	心の健康づくりの アドバイス
6 次回の予告	次回のテーマ「命ってなんだろう」を知り研究課題とする			

(8) 事後の活動

- ・学級への伝達（生徒保健委員）
- ・全校職員への報告（保健主事）
- ・学校保健委員会たよりの発行（生徒・保護者保健委員・教師）
- ・お昼の校内放送を活用して、全校生徒に啓発活動（生徒保健委員）
- ・学級活動、道徳、教育相談、人権週間へのアンケート結果の活用（教師）
- ・「家庭健康会議」プリント配布→家族会議実践→結果のまとめ

(9) 成果と課題

学年による悩みの特徴があり、3年生は進路の悩みも加わることがわかった。また、悩みの相談相手は、友達、家族、教師の順に多いことがわかった。つらい体験を生きる知恵に変えることや、楽しいことや目標を持って乗り切る方法などが話し合われた。また、家の手伝いや共通の趣味などを通して家族との対話を増やすことが大切、特に父親とのつながりを強めようとの意見が保護者から出た。様々な機会を通して、子ども達が相談できる態勢づくりに向けて話し合うことができた。

3 関係機関との連携を強化して取り組む例

—高等学校学校保健委員会の開催例—

1. 本校の学校保健委員会の実態

学校保健委員会は定例開催を春と秋の年間2回とし、学校年間行事に組み入れている。議題には、生徒の心身の健康問題だけでなく環境に関する問題も協議するなど、具体的で取り組みやすい内容を取り上げるようにしている。今後は、実践活動を継続したものにするためにも年間の開催回数を増やしていきたいと考えている。

委員の構成は、教職員、学校医、保護者の代表、地域代表、生徒代表などが基本であるが、本校では議題に応じて委員の構成を変化させている。

今回の議題である薬物乱用防止教育の取組みについては地域社会や地域保健との関連が強いことから、学校関係者だけでなく行政や医療関係者の参加を得て、各々専門とする立場から広く意見を出し合い相互理解と連携をつくる機会とした。

また、高校生に対する家庭教育の重要性を考えて、PTA活動を通じて平素の家庭内コミュニケーションがもてるよう各家庭に要望した。こうしたことから、今回の学校保健委員会の構成メンバーは次のようになった。

学 校	教務主任、生徒部長、保健体育科主任、 保健主事、養護教諭、保健部教諭、生徒保健委員代表
学校医等	学校医（内科、耳鼻科、眼科）、学校歯科医、学校薬剤師
保護者	PTA会長・副会長、保健委員
地 域	保健所、警察署、少年補導委員

2. 実践例

(1) 議 題 「絶対しません、薬物乱用」

(2) 日 時 平成〇〇年10月14日（火） 午後3時～ 本校会議室

(3) 議題設定の理由

近年、高校生をはじめ青少年によるシンナーや覚せい剤等の薬物乱用者の急激な増加が社会問題となり、健康問題にも重大な影響を与えている。

県内の高校生が覚せい剤の乱用で検挙されたり仲間で薬物を売買するなど、子どもたちのすぐ身近なところまで薬物乱用は迫ってきている。

また、高校生の薬物乱用に対する罪悪感や抵抗感が稀薄になっている実態は、文部省や総務庁の実施した「薬物についての意識調査」の調査結果で『使用は個人の自由』と薬物使用を容認する回答が2割もみられたことなどに表れている。

薬物の危険性や有害性を知り、自らを大切にしていける力や誘いを断る力をもった生徒の育成について、本校の健康教育と関連させながら話し合い、薬物乱用防止について学校・家庭・地域の連携や協力や方法など具体策を協議していきたい。

(4) 活動計画

事前準備 ↓ 開催当日	○保健主事・養護教諭 ・日時、議題の決定、会議の運営案の作成 ・提案、報告者に依頼 — 生徒部長…生徒指導にみる非行問題と傾向について — 学校薬剤師…薬物乱用による健康への影響について — 警察本部担当警部…青少年の薬物乱用の実態について — 保健体育教諭…高校保健授業における指導について ○保健部教師（保健主事・養護教諭を含む） ・運営の役割分担決定 — 開催通知の発送、会場準備、司会、記録の各係 ・資料の作成 — 薬物乱用の全国的な現状、本校校生徒調査、参考資料・冊子収集 ○生徒保健委員 ・「薬物乱用問題に関するアンケート調査」実施とまとめ
	○保健主事・養護教諭 ・会場の設営 ・計画案にそった展開

(5) 内 容

議事の流れ		生徒保健委員 生徒会役員	保護者の代表	学校教職員	学校医・ 学校歯科医・ 学校薬剤師	関係機関代表
報 告 と 提 案	生徒アンケートについて	アンケートの集計結果の報告	理解と質問	補助説明	理解と質問	理解と質問
	高校生の心理と青少年の実態について	大人への質問	家庭での子どもの様子	高校生の意識と問題点の報告	専門的立場からの説明	乱用少年増加と社会背景の説明
	薬物の影響について	薬物の性質と身体への影響について理解する			乱用される薬物と身体への影響についての説明	
	保健教科指導について	学習しての感想	理解	教科指導内容の説明	教科指導内容の理解と課題について助言	

質疑応答		アンケートや各専門分野からの報告に対して質疑応答を行い感想や気付いたことについて意見を述べる			
協 議	指導実践について考える	薬物乱用防止について関心を高め、正しい知識や正確な情報を教えるための活動や指導方法について意見を述べる			
	各立場で何を するか考える	文化祭で発表 生徒会報発行	広報活動 家庭会議	学級での指導 たよりの発行	資料提供、広報活動、 アドバイス

(6) 事後の活動

- ・学校では……「薬物乱用防止に関する指導方法」などの研修実施によって教職員の共通理解を深める
「薬物乱用防止の指導」に関するホームルーム時間を確保し、学級指導を中心とした健康教育の充実をはかる
- ・生徒会では……学級への伝達と討議を行い、薬物乱用防止の標語を募集する
文化祭では「ダメ、ゼッタイ」コーナーを設置して啓発活動を行う
- ・PTAでは……PTA会報の発行や講演会開催・教育ビデオ視聴などによる啓発を進めるほか、学級保護者会での問題提起を行う
- ・家庭では……「絶対しません、薬物乱用」について形にとらわれない話し合いの時間を持つ
- ・地域社会では…広報紙発行や掲示によるPR活動とともに地域パトロールによる環境整備を行う

(7) 成果と課題

- ・学校、家庭、地域と青少年の健全育成に関わる関係者が一堂に会して会議を持つことは相互の理解と協力につながりものであるとの認識が深まり、この学校保健委員会の重要性について参加者全員が共通理解を深めた。
- ・薬物乱用防止については、学校の教育指導が重要な鍵であるから、生徒への継続した指導を行う。そのための計画や指導時間の確保は不可欠であるとの提言がなされた。
- ・保護者から、青少年の薬物乱用増加の実態を知り危機感をもって望まなければならないとの積極的な姿勢が示され、学級の保護者会で話し合われることになった。
- ・今後はこの委員会が近隣の中学校や高校と連携を保つ推進役として活動を広げ、継続した取り組みを続けていく必要があるとの提言がなされた。

4 管理型の運営を重視して取り組む例

—盲学校学校保健委員会の開催例—

1. 学校保健委員会の実態

本校学校保健委員会は、各学部主事、保健主事、養護教諭等（下図参照）で組織され、年2回の学校全体での開催を柱とし、内科検診や眼科検診時に学校医等が来校する機会など学部単位でも開催を計画をしている。

本校児童生徒の状況は、小学部の児童から中・高等部、専攻科の生徒と年齢差が大きく、その障害の程度は、弱視から全く目の見えない児童生徒、身辺の自立が確立している生徒から車椅子を使用している児童と障害の重度・重複、多様化が進んでいる。

こうしたことから、児童生徒の学校保健委員会への出席は、話合いの内容が専門的かつ個別的なものとなるので難しい状況にはあるが、各学部単位で実施している学校保健委員会を中心に可能な限り児童生徒を参加させ、開催している。

全体会の議題としては、定例の報告として健康診断の実施と結果、事後措置の状況について協議した後、児童生徒の心身の障害の改善や克服をするために必要な知識や技能に関する事項や新たな健康課題への対応などについて情報交換や協議を行っている。

また、学校保健委員会の活動にあたっては、特別活動との連携を重視し、学級（ホームルーム）活動や児童会（生徒会）における保健に関する指導が効果的に進められるよう充実を図っている。

組織構成

学 校	学部主事、保健主事、養護教諭、生徒指導主事、寮務主任、体育主任、栄養士、厚生部担当教諭2名、寄宿舎指導員代表、児童会（生徒会）役員、児童生徒
学校医等	学校医（内科・眼科・耳鼻科）、学校歯科医、学校薬剤師
P T A	父母と教師の会会長等保護者代表

学校保健委員会の年間実施計画

月	実施内容	月	実施内容
4	学校保健委員会（全体会）	9	小・中学部学校保健委員会
5	小・中学部学校保健委員会	10	高等部学校保健委員会
6	高等部学校保健委員会	2	学校保健委員会（全体会）

2. 実践例

(1) 議 題 「新型インフルエンザの実態と予防法」

- (2) 日時・場所
- ・実施日時 平成〇〇年2月19日(木) 午後3時～
 - ・場 所 本校小会議室

(3) 議題について

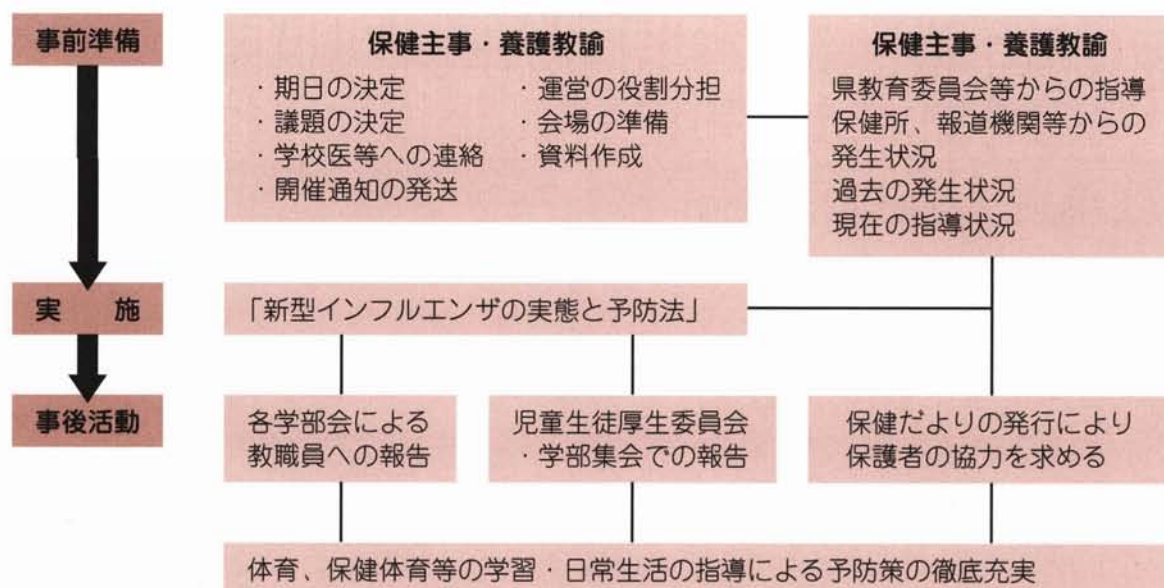
インフルエンザの発生の予防については、冬季間の大きな健康課題として教職員の共通理解のもと毎年計画的に児童生徒の指導にあたってきた。

しかしながら、今年度はインフルエンザが全国各地で猛威を振るい重症な患者がでていることからなお一層の適切な対応が必要となっているとともに、新しい型のインフルエンザの発生が報告され、児童生徒の不安が高まっている。

そこで、大きく報道されている新型インフルエンザの実態について学校医からお話いただくとともに、現在行っているインフルエンザの予防策について協議し指導の一層の充実を図ることとした。

また、半数あまりの児童生徒が寄宿舎で生活していることなどから、新型のインフルエンザを含めたインフルエンザについて正しい知識を持ち、予防にあたることは極めて重要であると考え議題とした。

(4) 活動計画



(5) 展 開

議事の流れ	児童（生徒）会 役員、児童生徒	保健主事、養護教諭、 学級担任	学校医、学校歯科医、 学校薬剤師	保 護 者
1 本校のかぜの発生状況について	今年度の発生状況について本校の実態をまとめ報告をする。	全国的な発生の現状について報告する		
2 これまで実施してきた予防策について	各学級の予防策について説明をする	各学部や寄宿舎で講じられている予防策について説明をする		家庭での取組みについて説明をする
3 新型インフルエンザについて			新型インフルエンザの情報を提供をする	
4 予防策についての話し合い	これまでの予防策を振り返るとともに新たな視点に立つ予防策について話し合いを行う ・学校環境衛生の充実のために ・感染症に対する児童生徒の不安を取り除くために			
5 今後の取組みについて	・教職員、児童生徒への情報の提供と保護者へのはたらきかけ ・教室環境の整備と充実 ・集団発生時の対応の確認 ・日常の健康状態の確認と発達段階や障害の状況に応じたより具体的でわかりやすい指導の実施			

(6) 事後の活動

- ・各教室に温度計や加湿器を設置することにより、教師や児童生徒に教室の空気などの環境衛生に関心を持たせるようにした。
- ・「体育・保健体育」や「日常生活の指導」、「養護・訓練」において、保健学習の充実に努め、重点的にうがいや手洗いの指導を行った。
- ・県教育委員会や保健所との連携を図り、保健だよりや学級通信などにより情報の提供に努めた。

(7) 成果と課題

- ・次年度の指導に役立てるよう、各学部・学級における指導についてまとめを行うとともに、学校保健計画の不足部分を補うよう見直しを行った。
- ・保健管理と保健教育の適切な実施をするための児童生徒の学校保健委員会への参加の仕方と健康相談の要素を多く含み学部単位で開催している学校保健委員会の在り方について、整理し検討する必要がある。

5 生徒代表を参加させて取り組む例

—ろう学校学校保健委員会の開催例—

1. 学校保健委員会の実態

本校の学校保健委員会は、教育目標の達成のため、幼児、児童生徒の保健管理・保健教育が適切に行われるよう、実態に即した学校保健計画を作成するとともに、学園や寄宿舎と連携を密にし保護者の協力を得て、計画が円滑に推し進められることを基本方針に開催している。

なお、委員会は、幼児、児童生徒、教職員が健康な生活ができるよう、障害を持つ子どもの健康状態について提案と協議を行い、各学部、各係との共通理解と連携のもと健康の保持増進のための保健活動の推進を目標に年4回の実施をしている。

聴覚に障害がある幼児、児童生徒の保健活動の充実のためには、家庭や地域社会ならびに関係機関との連携を強化する必要があることから、議題によっては委員会に特別に参加をお願いし情報交換を行っている。

・組織構成

学 校	学部代表、保健主事、養護教諭、厚生部長・副部長、 寄宿舎代表（厚生係）、中学部・高等部生徒代表
学校医等	学校医（内科・耳鼻科）、学校歯科医、学校薬剤師
P T A	P T A会長、P T A厚生部長
関係機関・ 団体（随時）	特殊教育センター所員、保健所、消防署

・学校保健委員会の年間実施計画

回	月	主な内容
第1回	4	・年間計画及び1学期の主な活動について ・本校の保健活動の概況について
第2回	7	・1学期の反省及び2学期の主な活動について ・健康診断及び校内のけがの防止について
第3回	12	・2学期の反省及び3学期の主な活動について ・児童生徒の保健活動や保健教育の実施について
第4回	2	・年間の反省及び次年度の保健計画について ・保健室利用状況について

2. 実践例

(1) 議 題 「校内のけがの発生状況と事故防止」

(2) 日時・場所 ・実施日時 7月16日(木) 午後2時～
・場 所 本校大会議室

(3) 議題について

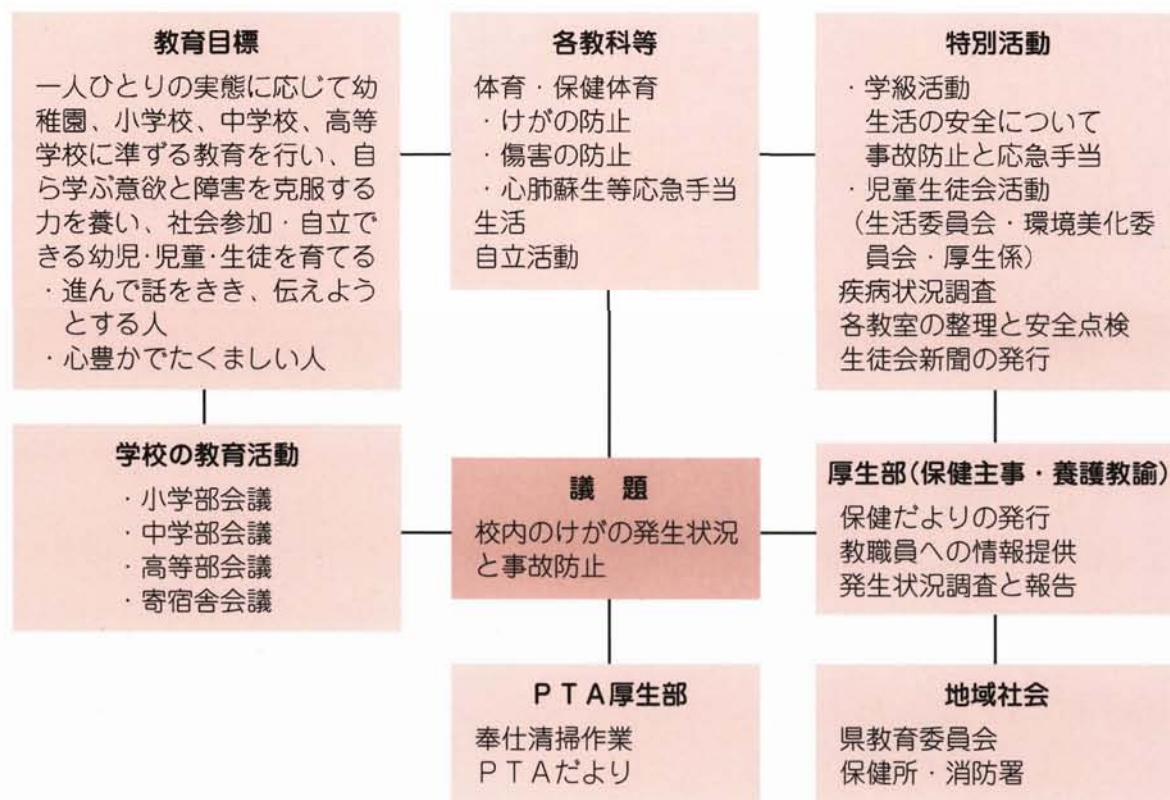
学校内の事故防止については、学校安全計画をもとに教職員の協力体制を整え、家庭や地域との連携を図りながら、毎月安全点検を実施するなど計画的・組織的に安全管理や安全教育の充実を図ってきているが、後遺症が残るような重大な事故は発生していないもの、打撲や捻挫、切り傷や擦過傷などのけがが毎年発生している。

こうした事故の発生状況をみると、聴覚に障害があるため遊具の使い方など遊び方や事故防止のための情報がうまく伝わっていないために発生していることがある。

そこで、子供たちのけがの状況を明らかにし、発達段階や障害の状況に応じた安全指導の充実や施設・設備の安全管理の在り方などを見直すため議題とした。

また、事故発生時の対応についても検討を加え、救急体制の整備にも役立てたい。

(4) 議題と教科や各種活動との関連



(5) 展 開

議事の流れ	生徒会役員、 生活委員会	P T A本部役員 P T A厚生部	保健主事、養護教諭、 学級担任	学 校 医
1 本校のけがの発生状況について	近年の発生状況を疾病状況調査から実態をまとめ報告する		日本体育・学校健康センターに係わる災害状況について報告する	
2 これまで実施してきた事故防止の方策について	校内の危険箇所やよくけがをする活動について報告する	家庭での取組みについて説明をする	各学部や寄宿舎で講じられている防止策について説明をする	防止の観点について意見を求める
3 けがや事故の防止防策について	これまでの防止策を振り返り今後の防止のための手だてについて話し合いを行う ・施設・設備の安全点検充実と危険箇所の改善 ・危険箇所の明示と安全意識の高揚 ・事故発生時の対応と救急体制の整備			
4 応急手当の方法について	けがの応急手当について不明な点について話す		校内の救急体制について説明をする	応急手当の方法と留意点について説明をする
5 今後の取組みについて	ポスター、ストップマークの作成と掲示	事故発生時の対応の確認 心肺蘇生法等実技研修会の開催 緊急連絡網の確認と掲示		

(6) 事後の活動

- ・児童生徒会の生活委員会や厚生係を中心に、校舎内外のみならず家庭においても危険箇所（よくけがをするところ）の点検とストップマーク等により危険を知らせるようにした。また、掲示板にポスターを貼り意識の高揚を図った。
- ・P T Aや学校医、消防署と連携し心肺蘇生法の実技研修会を開催した。

(7) 成果と課題

- ・学校保健委員会を定期的に開催することで、学校保健に関する教職員の意識が高まった。しかし、どうしても管理面に偏ってしまう傾向があり、これからは児童生徒一人一人の健康の保持増進や障害を克服するための手だてを講じていきたい。
- ・児童生徒の事故防止に対する意識の掘起こしを行うとともに、個人の健康に関する課題なども日常の保健指導や個別の保健指導がなお一層適切に実施されるよう学校保健計画を充実させて行きたい。

6 個々の発達に応じて家庭と一体となって取り組む例

—養護学校学校保健委員会の開催例—

1. 本校の学校保健委員会の実態

本校は肢体不自由養護学校であり、在籍する児童生徒のほとんどが重度重複障害を伴っている。障害は肢体不自由・知的障害・言語障害・難聴・てんかん等が重複しており、日常的に鼻腔経管栄養や吸引などの医療的ケアを必要としている。

本校の学校保健委員会は、児童生徒の生きる基盤を作り自立を目指す自校の学校教育方針に大きく関わっている。肢体不自由養護学校においては、学校保健委員会の果たすべき役割は極めて重要である。養護学校の学校保健委員会には次のような特徴がある。

○一般的に学校保健委員会を構成する関係者の人数が多い。

とりわけ、委員の構成員数が多いのは次の理由である。

- ・学校医が多い（内科・耳鼻科・眼科・歯科の校医だけでなく整形外科や精神科の校医）
- ・校内に部が多い（小学部・中学部・高等部・訪問部・訓練部・給食部・通学部）
- ・校内職種の幅が広い（教諭・養護教諭・学校栄養職員・介護職員・通学バス技術吏員）

○小学部から高等部まで一貫した指導や取組を進められる利点がある。

○家庭の理解と協力がなければ健康教育自体が成り立たない。

委員の構成

学 校	事務長・教務部長・保健主事・保健部員・養護教諭 各部主事（小学・中学・高等・訪問・訓練・給食・通学） 各主任（研究・体育・安全・給食）・学校栄養職員・介護職員 学校医（内科・耳鼻科・眼科・整形外科・精神科・小児神経科） 学校歯科医・学校薬剤師
保 護 者	PTA会長・PTA本部役員・各学年保健委員
地 域	保健所・医療機関
そ の 他	議題により、関係者を臨時に委員とする

協議内容は、学校の教育活動の課題としてクローズアップされたことをテーマに設定し、各部から発表・報告・提案など研究協議の形をとっている。

保護者代表も出席するだけでなく、保護者の立場からの積極的な発表者や発言者になっており、この積極的な参加が、学校保健活動や健康教育についての保護者の意識を高めている。

関係諸機関と各部は日頃から連携を保ち、必要に応じて指導を仰ぐ関係をもっている。学校保健委員会は中身の濃い協議となっており、学校医や保健所の方からも指導助言にとどまらず積極的な提言をしていただいている。

2. 実践例

(1) 議 題 養護学校における食事指導と歯の健康

(2) 日 時 平成〇〇年6月4日(金) 午後2時30分～ 本校会議室

(3) 議題について

本校では給食指導と歯みがき指導は、一連の健康教育として給食の時間に実践している。児童生徒の障害の重度化に合わせて、給食が「一般食」だけでなく「ミキサーの刻み給食」や「ペースト状の給食」と種類が増えたため、咀嚼が軽視される傾向が出てきた。歯や全身の健康のためにも、『咀嚼』は重要な課題であるが、咀嚼そのものが困難な本校の児童生徒の実態に即した給食指導と歯みがき指導を家庭と協力してどのように進めていくのかを協議する。

(4) 活動計画

事前準備 ↓ 開催当日	○保健主事・養護教諭 ・日時、議題の決定 ・提案、報告者に依頼	・会議の運営案の作成 保護者・給食主任・養護教諭・学校栄養職員・ 学校歯科医・歯科衛生士
	○保健部教師 ・運営の役割分担決定 ・資料の作成	— 開催通知の発送・会場準備・司会や記録の各係 — アンケート集計表・ビデオOHP・参考資料の準備 ・会場の設営 ・運営案にそった展開（保健主事が司会を担当）

(5) 議事の流れ

議事の流れ		保護者代表	給食主任・ 養護教諭	学校栄養職員	学校医・ 学校歯科医	関係機関
報 告 と	家庭の食事アンケート結果報告	アンケート集計を報告	アンケートの結果から判った家庭での様子について理解する			
	児童生徒の実態と給食の報告	理解する	現状の報告と問題点の報告		補足説明	
	実態に合わせた調理の工夫紹介	給食の試食	給食の配膳	献立サンプルの説明	給食の試食	

提 案	咀嚼と歯の健康について解説	歯の健康について理解を深める			歯と歯肉の 検診結果	咀嚼の説明
	食後の歯磨きの様子を報告	家庭での歯磨きを紹介	児童生徒の日常指導をビデオによって紹介する		個人に合う歯磨きや 歯肉炎予防の指導	
質疑応答		・ アンケートや各部からの報告によって、現状を知る。 ・ 食事や噛む事が全身の健康や機能訓練と関係している事を確認する。 ・ 質疑応答を行い、感想や気付いた事について意見を述べる。				
協 議	学校と家庭の連携をもった取組を考える	・ 個々の児童生徒の課題を相談できる環境作りや、指導を継続する方法について意見を述べる。 ・ 取り組みについてのアイデアを出し合う。				
	各立場で何を行うべきか考える	広報活動 家庭会議	学級指導実施 たよりの発行	資料提供 アドバイス	広報活動・講演・資料の提供 アドバイス	

(6) 事後の活動

・教職員の研修実施による共通理解	・学校保健委員会だよりの発行
・学級指導を中心とした健康教育の充実	・学級保護者会での伝達
・歯磨きと噛み噛み点検カードの継続	・学校と家庭の「よくかむ日」の設定
・学級参観日に親子歯みがき教室の開催	・本校の歯みがきソングを希望家庭に配布

(7) 成果と課題

- ・在籍する児童生徒の個々の障害の種類や程度が異なるため一斉指導は困難であり、一人一人の状況に即した保健指導が求められている。このような現状の中で学校保健委員会が児童生徒の個々の発達課題を踏まえた指導を提案することによって、家庭と学校が一体となった指導が実践できた。
- ・授業参観日に、学校保健委員会が企画した講演会や給食試食会・親子歯みがき教室などの取組みを行ったことで保護者の理解も深まり、学校と家庭との連携がより密接になった。
- ・委員会の構成員が多く、全員の意見を聞く時間が少ないため、小・中・高の各部の小保健委員会の開催などを企画し、それぞれの部で生じる問題に対応できるようにしていきたい。

5

これから開催しようとする学校のために

自分の学校に学校保健委員会がないことをどう考えていますか。

必要性を感じなければ、開催はできません。理想を求め過ぎるとクリアしなければならないことが多すぎて、考えているだけで前に進みません。自分の学校の現状を考え、できることは何かを見つけ、とにかくできることから始めることが肝心です。行動を起こすことにより、理解者、協力者の輪が広がっていきます。その行動を起こすのは保健主事のあなたです。

できることから はじめよう

1 保健主事のあなた自身、認識していますか 一学校保健委員会の必要性を一

子どもの様子はどうでしょう

- ・ 一日一回は、保健室に足を運んでみましょう。
- ・ 一日一回は、校舎内外を見回しましょう。
- ・ 時には、通学路を歩いてみましょう。

いろんな問題が見えてくるはずです。

他機関等の連携が必要と思いませんか

- ・ 保護者の協力が、絶対に必要と思いませんか。
- ・ 地域の協力があつたらと思いませんか。
- ・ 学校医等専門的立場からのアドバイスがあるとよりよい解決方法が見つかると思いませんか。
- ・ 時には、行政の協力がほしいと思うことがありますか。

学校の教職員だけでは解決できない問題がたくさんあるはずです。

様々な力が結集する場が、学校保健委員会です

保健主事が、しっかりとした考えを持っていないと他の職員、PTA、その他の人々に学校保健委員会の必要性を理解してもらえません。

保健主事のあなた自身が、学校保健委員会についての認識を深める努力をしてください。

2 養護教諭と力をあわせて

保健主事と養護教諭は、車の両輪のようなものです。

片方が右、一方が左を向いては、車は動きません。保健主事と養護教諭が、常に連絡を取り合い、共通理解に努めるようにしましょう。

- (1) 子どもたちの健康問題（学校の課題は何か）
- (2) 学校保健委員会開催の障害になっているものは何か 何からならできるか
- (3) 学校保健委員会に関する他校の情報・資料の収集
(他校の学校保健委員会を見学することもよいでしょう)
- (4) 校内保健部（各学年保健担当）への原案
- (5) 学校医・学校歯科医・学校薬剤師等専門職との連携
- (6) 今後の見通し（第一回学校保健委員会をさらに発展させるための手だて）

養護教諭が、保健主事の場合は、校内の教職員保健部（学年保健係）等とのチームワークが特に大切になります。

3 校長先生に相談して

第一回学校保健委員会について、保健主事と養護教諭との話し合いをまとめて、校長先生や教頭先生に相談しておくことが大切です。このことは学校保健の問題を学校全体の課題にする上においても大切なことです。と同時に、校長先生から指導助言を得ておくことが、第一回学校保健委員会開催に、大きな力となります。

4 校内保健部で具体的な計画案の作成を

保健主事と養護教諭の二人の考えを校内保健部に示してみましょう。形式ばらずに小人数なら本音が出てくるでしょう。

保健主事の考えを押し付けず「今、できることは何か」を中心に話し合しましょう。

保健部として組織されていない場合は、各学年の保健担当と話す機会を設けましょう。きっと、最初の協力者として学年とのパイプ役になってくれると思います。

保健主事は、話し合ったことについては、職員の打ち合わせ等で必ず、全体に連絡しましょう。

5 企画委員会、運営委員会等で共通理解を

保健部としての原案がまとまったら、企画委員会、運営委員会等を経て、職員会議へ提案しましょう。

よき理解者・協力者の輪を順次広げ、話題を職員全体のものにしましょう。

6 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の協力を

保健主事は、定期健康診断等の機会を把握、児童生徒の疾病状況や健康問題・学校保健委員会の開催等について意見を聞き、協力を得ることが大切です。

学校医、学校歯科医、学校薬剤師の先生方も保健主事からの話しかけを期待しているでしょう。とりわけ、学校保健委員会の開催の話題については、きっと心待ちにしているにちがいありません。

7 P T Aの協力を

保健活動の充実を図るために、保健主事と養護教諭が、P T A保健委員会等に参加し、学校の健康問題について理解を深め、協力を求めましょう。

年度当初にP T Aの保健委員長等と連絡をとりましょう。

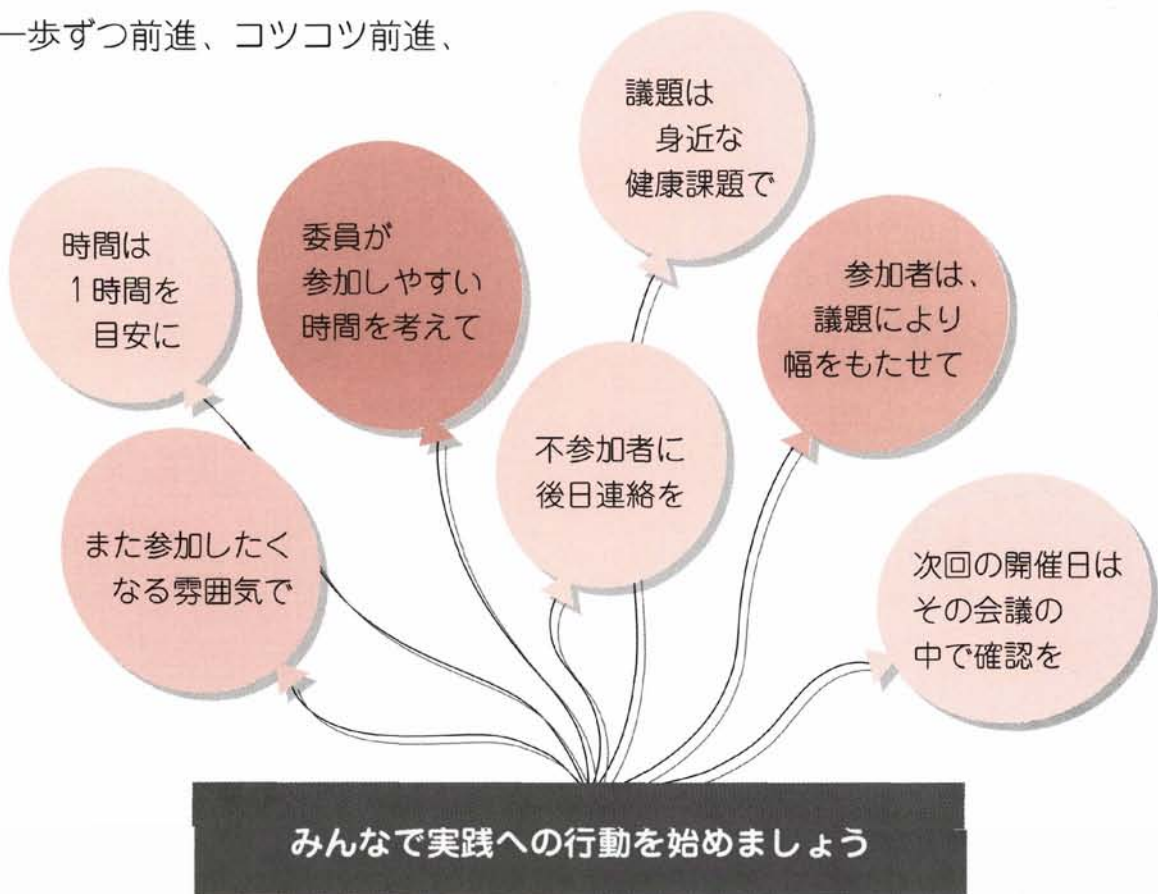
8 評価をしっかりと

学校保健委員会を行った後、その成果等について、しっかりとまとめておきましょう。

また、学校保健委員会に関することを学校評価の項目に位置づけ、学校の課題となるようにしていきましょう。

職員一人一人の課題（学校全体の課題）になれば、次年度への方向性が、出てくるでしょう。

一歩ずつ前進、コツコツ前進、



6

関連する様々な活動

学校保健委員会の活動は、様々な活動へと広げていくことができます。学校保健委員会の活動内容を、家庭や学級や地域と連携して取り組んでいくことで、より充実したものになっています。

1 家庭健康会議

①家庭健康会議とは

学校保健委員会で今後取り上げるテーマや学校保健委員会で話し合われた内容について、「会議」という形式で家族が話し合い健康な生き方を共に考えるものです。

子どもや大人を含めた家族一人一人が意見を発表し、その意見に家族全員が耳を傾けることでお互いの思いを理解できます。

家庭生活の改善や向上にむけ、学校での健康指導を家庭で生かし、より積極的な健康作りへ発展していくことを目指します。

家族が一緒になって健康な生活を考える機会なので、「家庭すこやか会議」「家庭すくすく会議」など健康をイメージしやすい名称を工夫して、家庭での会議を進めていく方法もあります。



②家庭健康会議から期待できること

- ・学校保健委員会の活動に理解や協力が得られる機会となります。
- ・家族一人一人の生活課題の反省や健康づくりの課題を確かめ合うことができます。
- ・親子、家族のふれあいの場となります。
- ・子どもが家庭の中で「会議」を体験することで、話し合いの進め方やルールを家族と共に学ぶことができます。

③議題の選び方

学校保健委員会からは、話し合って欲しいテーマや内容についての話題を提供したり、家庭健康会議の提案プリント（「家庭すこやか会議のおすすめ」）などを家庭に配布して、それぞれの家庭で話し合ってもらうようにします。

【提案の参考例】

保護者の皆様へ

平成〇〇年〇月〇日

「家庭すこやか会議」のおすすめ

〇〇〇立〇〇小学校

校 長 〇〇〇〇

PTA会長 〇〇〇〇

本校では、本年度「環境を守るために私たちにできること」をテーマに学校保健委員会を開催し、学校と家庭・地域の皆様と共に話し合いを進めて参りました。

この話し合いの輪をさらに広げていくために、ご家庭の皆様で話し合う「家庭すこやか会議」をぜひ持っていただきたいと思います。

なお、家庭すこやか会議で話し合われたご意見・ご感想などをお寄せ頂き、本校の保健活動の更なる発展に結び付けていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

話し合いのヒント

◎別紙の『保健だより』を参考にして“家庭で出来るリサイクル”や“ごみを減らす工夫”などについて話し合ってください

[保健だより活用例]

保健だより

平成〇〇年〇月〇日 NO.5
〇〇〇立〇〇小学校 保健室



環境保護 できることから始めよう



私たちにできること

もっとも安価で安全なゴミ処理対策は、ごくごくあたりまえの常識です。すなわち捨てる量を減らし、リサイクルする量を増やすことです

給食で出た牛乳パックの回収を保健委員で回収して、リサイクルにまわしています。
この牛乳パックのリサイクル活動から学んだことを委員会で見聞します。
地球の環境を守るために、日常の生活で私たち一人一人にできることを展示します。
牛乳パックでできる『手すきハガキ』作りもします。どうぞみなさん、おこしください。



家庭では、「家庭すこやか会議のすすめ」、「学校保健委員会だより」、「保健だより」、「PTA広報」などの内容から、

- ・家族が共通してイメージできる具体的なもの
- ・現在の生活の中で、家庭で解決したいもの

などをテーマとして選ぶことが大切です。

④会議の進め方

家族の中で司会・書記などの分担を決めて話し合いを進めます。子どもが司会者となって家族の意見を聞くのもよいでしょう。短い時間でも、家族の人数が少なくても会議を開くことはできます。

家庭健康会議の進め方には、このようなものがあります。

司会の例

1. これから「家庭すこやか会議」を始めます。
2. 司会をつとめる_____です。 書記をつとめる_____です。
3. 今日の議題は『環境を守るために私たちにできること』です。日常生活の中で、我が家では節電や節水をしています、それ以外にこれならできるという、いろいろなことについて話し合いたいと思います。
4. では話し合いを始めます。
意見を出してください。
5. これで「家庭すこやか」会議を終わります。

⑤会議の結果

話し合った内容や感想を簡単に記録して学校に提出します。

集まった意見や感想は、学校保健委員会の会議で生かすだけでなく、いろいろなたよりに載せるなどして、学校と家庭をつなぐパイプとします。こうしたフィードバックにより学校保健委員会と家庭の相互の連携を強めていきます。

【記録の参考例】

家庭すこやか会議をひらいて

年 組 氏名

参 加 者 () 合計 名

司会者《 》

議題（テーマ）	話し合ったこと・話し合って決まったこと

家庭すこやか会議をひらいての感想

2 学級・学年保健委員会

①児童生徒の学級・学年保健委員会

学校保健委員会で協議された活動の成果をあげるには、学校生活の基盤である学級が大きな役割を担っています。

- ・ 児童生徒の提案や調査報告など、学級活動で取組んだ内容が学校保健委員会に生かされます。
- ・ 学校保健委員会で話し合われたことをもとに、学級での保健指導を行うことで、実践化につながり生活の充実が図られます。
- ・ 学年相互の連携により、健康教育がより充実します。
- ・ 学級での日常の様々な保健活動が、児童生徒を通して家庭や地域へ広がります。



② 保護者の学級・学年保健委員会

学級や学年で、身近な健康問題を話し合い実践をする会です。PTA保健委員が中心となって会を進行することが考えられますが、テーマによって、給食委員・安全委員・美化委員など、関連する委員会と協力して進めます。

話し合われた内容や意見は、学校保健委員会で取り上げ、協議した後、再び学級や学年の話し合いに活かします。また、PTAだよりや学級・学年だよりなどの広報紙の活用により、家庭や社会に健康づくりの輪を広げていきます。

3 拡大学校保健委員会

いつもの学校保健委員会の枠を広げ、拡大学校保健委員会を開くことで、家庭や地域と共に進める保健活動に広がっていきます。「学校すこやか会議」「学校すくすく会議」など親しみのある名称をつけ開催するのもよいでしょう。

拡大学校保健委員会には

- ・ 委員会の構成メンバー 枠を広げた拡大学校保健委員会
- ・ 委員と保護者や地域の人々などに参加者の枠を広げた拡大学校保健委員会

があります。

委員の構成メンバーの枠を広げた拡大学校保健委員会では、校内の関連ある他の委員会の参加を得たり、校外の関係機関の方や地域の方を学校に招いたり、より多くの教職員や児童生徒やPATの参加を得て、学校保健委員会を開催します。メンバーを広げることで、協議に幅と深まりができ活動が広がっていきます。

拡大学校保健委員会では、保護者や地域の方々に参加者の枠を広げて学校保健委員会を開催します。

体育館など広い会場で、メンバー以外の保護者や児童生徒や地域の方々と学校保健委員会が一体化して会を持ちます。

時には、児童生徒の意見の交換や創作劇の発表を行うなどにより、拡大学校保健委員会の活動を通して、実践への意欲づけができると共に、開かれた学校づくりが推進され、活動の輪が広がっていきます。



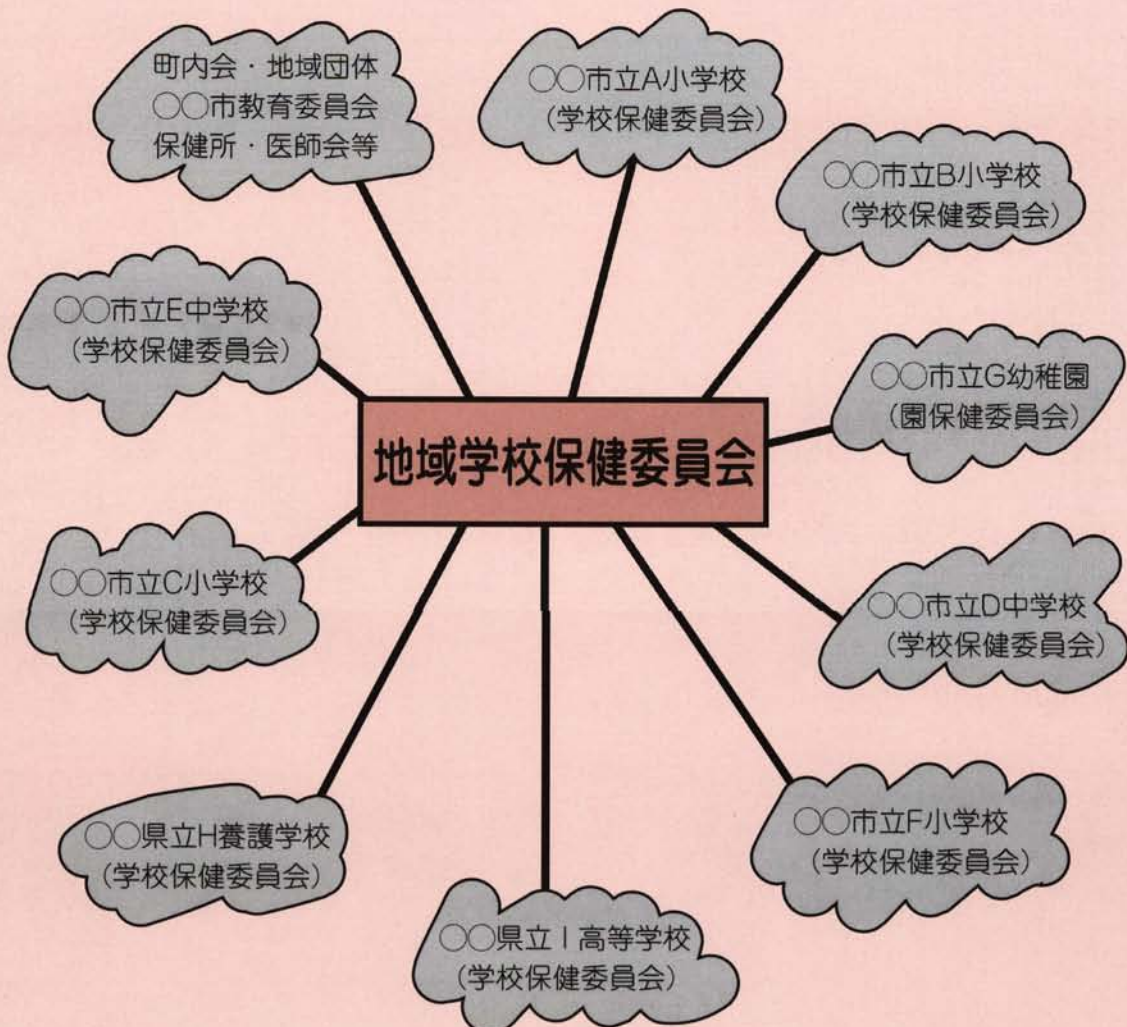
7

地域学校保健委員会のすすめ

1 地域学校保健委員会とは

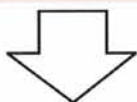
一定地域内の幼稚園や小・中・高校、あるいは特殊教育諸学校の各学校保健委員会が連携して、地域の子どもたちの健康問題の解決や健康づくりの推進に関して、協議等を行うために設置されるものです。

(〇〇市内のある地域の例)



2 地域学校保健委員会の目指すものは

- ☆その地域の学校保健に関する情報や問題を収集し、検討分析する。
- ☆地域に共通する健康課題の解決や健康づくりを推進するための協議や研修を行う。
- ☆保健管理・保健教育との相互調整、関係機関との連携強化をする。
- ☆各園・学校の学校保健委員会の運営・活動の活性化を図る。
- ☆子供たちの健康安全に関する課題解決方法についての話し合う。

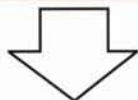


《最終目的は》

- ◎総合的・積極的に学校保健活動を推進し、子供たちの健康の保持増進を図ります。
- ◎健康な学校生活と学校教育活動の円滑な推進を図り、学校教育の目的達成に寄与します。

3 良いこといっぱい

- ☆他校の実践から学ぶ機会が増えます。
- ☆学校の活性化に役立ちます。
- ☆コミュニティづくりが拡大します。
- ☆多くの関係機関・団体との連携が拡大します。
- ☆学校保健の研修機会が拡大します。
- ☆学校保健に関する視野が広がります。



《開かれた学校に》

- ☆同種の学校相互の連携はもとより、異種校間（幼一小、小一中、中一高、中一養など）の連携・交流ができます。
- ☆地域に住む園児・児童・生徒一人一人に一貫した健康教育が進められます。

4 集まる人たち

- ☆地域内の各園・学校の学校医・学校歯科医・学校薬剤師(あるいは各代表者)
- ☆地域内の園長・校長(教頭)
- ☆地域内の各園・学校の保健主事や養護教諭
- ☆地域内の各園・学校のPTA会長(あるいは各代表者)
- ☆地域内の学校栄養職員の代表者
- ☆地域内の関係機関・団体の代表者及び各町内会長(あるいは各代表者)
- ☆地域内の婦人会・青年団・老人会の代表者
- ☆教育委員会の担当者
- ☆保健所の担当者
- ☆児童生徒の代表者
- ☆その他(議題等に応じて)



5 幅広い活動内容

- | | |
|-------------|--|
| ☆会議の開催 | ・実践活動の企画立案をするために会議を開きます。 |
| ☆資料の収集 | ・地域の子どもたちの健康問題の把握に努めます。 |
| ☆広報活動 | ・活動の様子などを広報し、地域に啓発します。 |
| ☆情報交換 | ・各学校が相互に情報交換し、刺激し合うようにします。 |
| ☆研修会・講習会の開催 | ・会員が研修し資質向上に努めたり、地域の啓発活動も行います。 |
| ☆実践活動 | ・各学校の具体的な実践主題を決め、子どもの健康安全対策や保持増進を図るための実践活動を進めます。 |
| ☆まとめ | ・活動のまとめと反省をし、次年度に生かします。 |

6 委員会開催後の実践活動

★各園・学校では

- 教職員 → ・保健主事等より説明し共通理解を図り、各学年・学級で実践化に努めます。
- 学校保健委員会 → ・実践化に向け、活動内容を協議します。
・具体的な実践活動を行います。

学校での実践

★家庭では

- P T A → ・P T A活動として、具現化に向けての話し合いをします。
・広報委員会や保健委員会で啓発活動を行います。
- 家 族 → ・家庭で実践できることを話し合います。

家庭での実践

★地域・関係団体では

- 町内会 → ・回覧板等で伝達したり実践活動等で協力します。
- 学校医等の会 → ・専門的立場からのアドバイスをします。
・講演会での講師を引き受けたりします。
- 行政機関 → ・地域ぐるみ活動への援助をします。
・他の地域学校保健委員会との連携を図ります。
・地域保健活動の推進を図ります。

地域等での実践

7 組織化へのいろいろなタイプ

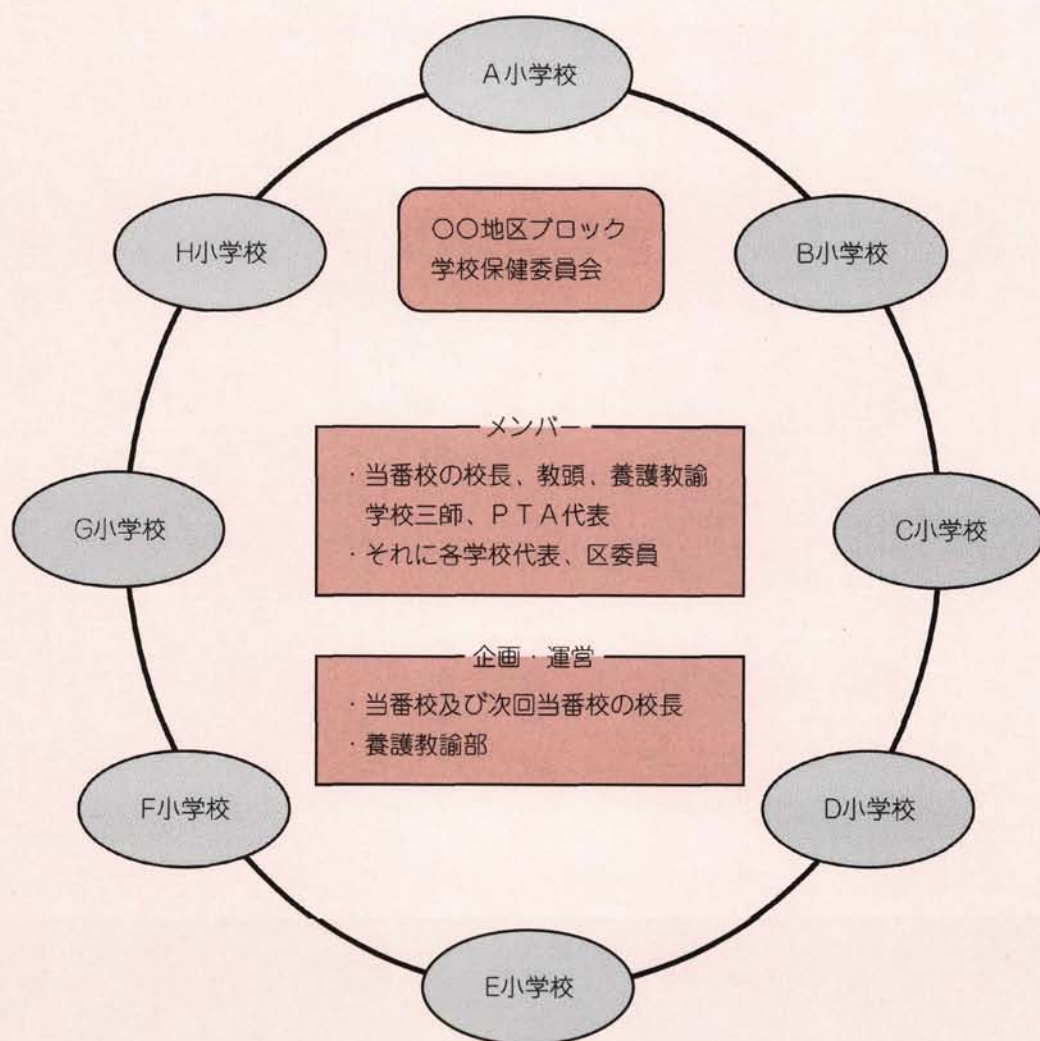
- ☆自然発生タイプ——— 必要感から自然発生的に組織され活動する場合。
- ☆学校保健会主体タイプ—— 地域の学校保健会が中心となり一領域として組織される場合。
- ☆学校主体タイプ（A）—— 保健主事や養護教諭が組織の中核となり活動のリーダーとなる場合。
（保健主事・養護教諭型）
- ☆学校主体タイプ（B）—— 校長等の管理職が主体となって組織を図る場合。
（管理職型）
- ☆行政指導タイプ——— 行政が主体となって働きかけ、地域を指定して組織する場合。

8 地域学校保健委員会の実践例

[地域学校保健委員会のしおり（日本学校保健会）より]

(その1)

必要感から自然発生的に同種の学校間で組織された例（東京都〇〇地区）

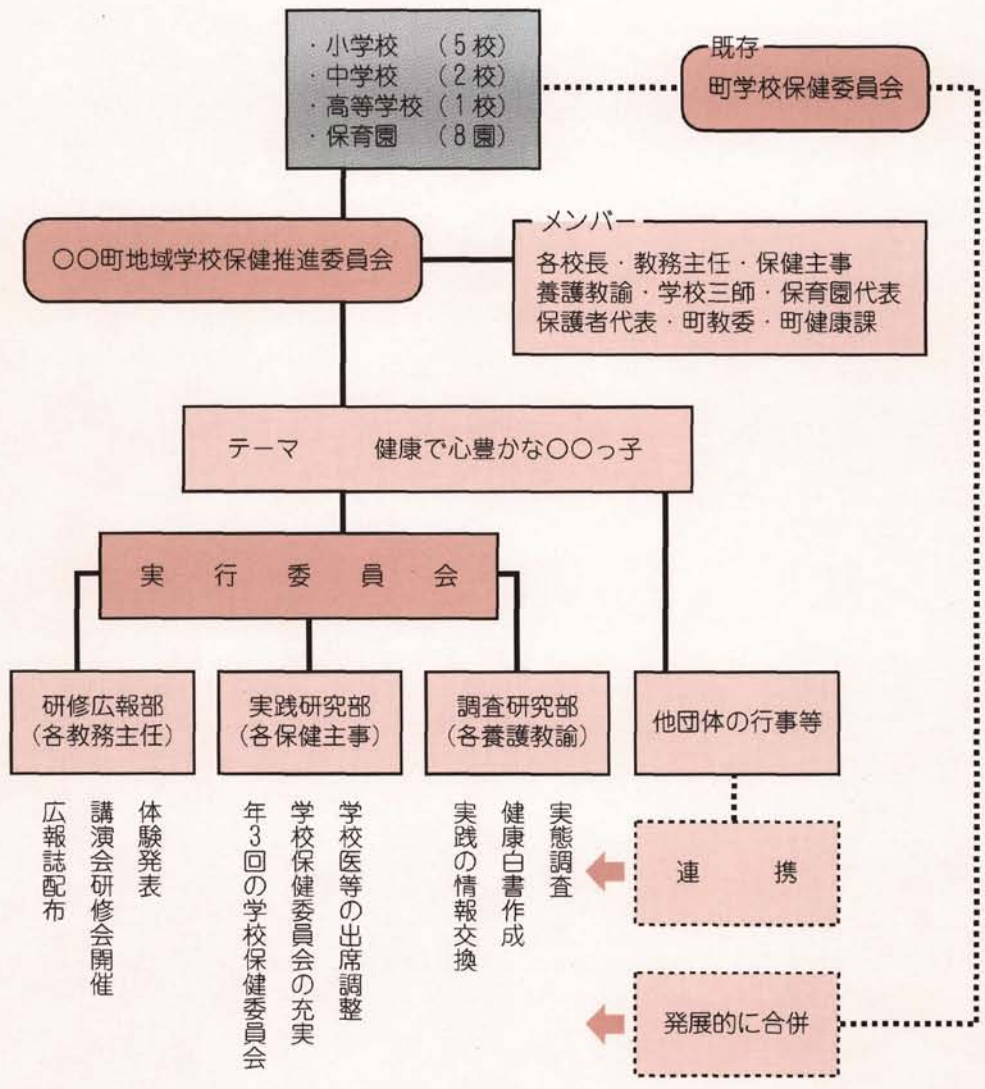


◎当番校は8校の持ち回り

◎当番校が会場となり、各校と連絡を取りながら運営

(その2)

既存の町学校保健委員会を拡大発展させた例（愛知県〇〇町）



- ◎全体的立場の推進委員と実践的立場の実行委員
- ◎シンボルマークを作り、各種活動に活用

8

学校保健委員会 Q & A

Q1

学校保健委員会とは、何を
するところですか。

A 子どもたちが生涯を通して健康で安全な生活を送ることができる力を身に付けるため、学校における主に児童生徒の健康の問題を研究協議し、健康づくりを推進する組織です。

学校保健委員会の開催は、学校と家庭や地域・関係諸機関を結ぶ組織活動として有効であり、その活動を活性化することが重要となっています。

Q2

学校保健委員会の法的な根拠
を教えてください。

A 学校保健委員会は、昭和24年11月文部省より「中等学校保健計画実施要領（試案）」がだされ、設置が促進されるようになりました。

さらに、昭和33年に学校保健法が公布されたのを機会に、同年6月には学校保健委員会の開催や活動の計画的な実施について、文部省体育局長通達がなされています。

その後、昭和47年12月と平成9年9月の文部省保健体育審議会の答申において、学校保健委員会の運営の強化の必要性について改めて提言されています。

Q3

今、なぜ学校保健委員会が注
目されているのですか。

A 生活習慣病や心の健康問題、感染症の新たな課題など、子どもの健康に関する現代的課題等に学校が適切に対応するためには、学校が組織として一体的に取り組むことが、極めて重要となっています。

その中核となる組織が学校保健委員会であり、課題解決にむけた具体的な活動の推進が、家庭や地域社会に健康づくりの輪を広げているからです。

Q4

学校保健委員会には規約が必要なのでしょうか。

A 規約があれば、関係者の共通理解が図りやすく、開催しやすくなります。しかし、規約がなければ開催ができないということではありません。年間計画に位置づけ、組織構成、運営案などが整っていれば開催はできます。

規約がある場合には、健康問題の解決に、より機能する運営を考えるなど、その年度の方針に即して弾力的に、改善を加えていくとよいでしょう。

Q5

「すこやか会議」や「すくすく会議」とは違うのですか。

A 学校保健委員会の通称の一例です。

委員会の構成員として、積極的に児童生徒や保護者を加えている学校が増えています。その際「健康」をイメージしやすい名称を工夫して開催をし、保健の学習や指導などに関連を持たせながら、活動しやすい印象を持たせる工夫をしているのです。

Q6

議題を設定する際のポイントを教えてください。

A 議題は、できるだけ具体的な議題に絞り、問題解決に迫る方法を見いだせる話し合いができるように、設定することが大切です。

- 1 児童生徒の生涯の健康づくりの基礎を培う観点から、現在の自校の健康問題を解決し、健康づくりを考える議題とする。
- 2 健康診断の結果から、経年推移や地域的な比較をし、議題を焦点化する。
- 3 健康に関する実態調査や追跡調査の実施から、具体的な問題を取り上げる。

Q7

委員会開催に当たって、保健主事と養護教諭のかかわりを教えてください。

A 学校保健委員会は、学校と家庭・地域社会を結ぶ絶好の機会ですので、保健主事が中心となり、その企画・運営をします。

その際、養護教諭の職務についてよく理解し、養護教諭の専門的な立場を生かした協力を得、密接な連携を図ることが重要となります。

Q8

ヘルスプロモーションと学校保健委員会の関連はどのようになっていますか。

A ヘルスプロモーションは、「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」(1986年・WHOオタワ憲章)とされ、健康の実現のための環境づくり等も含む包括的な概念です。

一方、学校保健委員会の開催やその活動を通して、児童生徒は自分自身の生活習慣や心身の状態などに気付き、健康課題を自ら解決したり、安全に行動したりできる資質や能力をはぐくむことができます。このことは、ヘルスプロモーションの考え方と一致していると言えます。

したがって、今後の学校における健康づくりの充実・推進には、健康教育の充実はもちろん、ヘルスプロモーションの理念に基づく学校保健委員会の運営の強化を図ることが必要となります。

Q9

形式的な会にならないためにどのように工夫したらよいでしょうか。

A 学校保健委員会がよりよく機能するためにいろいろな工夫がされていますが、運営上の観点として、次の4点があげられます。

- 1 学校と家庭の役割を明確にする。
- 2 実践の手だてがイメージできる議題にする。
- 3 問題解決に効果的に働く組織と運営にする。
- 4 委員会で協議された事項は、実践に移すようにする。

(文部省編「小学校歯の保健指導の手引(改訂版)」平成4年2月)

Q10

公開学校保健委員会について教えてください。

A それぞれの学校の学校保健委員会を公開し合い、見学研修の機会を設けることです。

委員会の活動を公開することで、地域の学校間の連携が広まったり、地域の理解が深まったり、さらなる活性化につながります。

一方、初めて学校保健委員会を開催する場合や委員会は組織されているものの、その機能が発揮されずに沈滞しているときなどには、他校の開催の様子を見ることにより、開催のためのヒントを得ることができたり、活性化のためのアイデアを発見することができます。

本資料は、文部省補助による学校保健センター事業として、下記の財団法人日本学校保健会の保健主事資質向上委員会で作成したものである。

『保健主事資質向上委員会名簿』（平成9～11年度）

委員長	吉田 瑩一郎	日本体育大学教授
・副委員長	稲垣 克朗	愛知県安城市立桜町小学校校長
・委員	足立 清志	千葉県千葉市立越智中学校教頭
委員	阿部 伊織	埼玉県和光市立第三中学校養護教諭
・委員	井上 真理子	東京都中野区立谷戸小学校養護教諭
・委員	猪鼻 洋子	埼玉県川越市立城南中学校教諭
委員	伊村 欣祐	東京都渋谷区立本町小学校学校医
委員	衛藤 隆	東京大学大学院教授
委員	加藤 想士	千葉縣市川市立中国分小学校学校歯科医
・委員	上迫田 健二	埼玉県蕨市立塚越小学校校長
・委員	熊倉 幸子	群馬県高崎市立寺尾中学校教諭
・委員	小檜山 宗浩	福島県立盲学校教諭
委員	佐藤 晴壽	日本学校薬剤師会副会長
・委員	田中 富士子	京都市立塔南高等学校養護教諭
委員	那須 信男	大阪府立堺養護学校教頭
・委員	林 眞示	千葉県立松尾高等学校校長
委員	古川 武	長崎県諫早市教育委員会生涯学習課長
○委員	米山 和道	東京都文京区立昭和小学校校長

○印、小委員会委員長 ・印、小委員会委員

本書の作成に当たり、文部省体育局学校健康教育課教科調査官 戸田芳雄 のほか下記の方々に多大のご援助とご助言をいただきました。

三木 とみ子	文部省体育局学校健康教育課教科調査官
鬼頭 英明	文部省体育局学校健康教育課教科調査官
北澤 潤	文部省体育局学校健康教育課専門員

学校保健委員会マニュアル

共に学び合い、子どもにたくましく生きる力をはぐくむために

平成12年2月15日 発行

発行者

財団法人 日本学校保健会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17

虎の門2丁目タワー6階

☎03 (3501) 3785・0968

印刷所

株式会社 廣済堂

© 財団法人 日本学校保健会

